京城日報

朝刊と合せて八頁
定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾錢 六ヶ月金貳圓七拾錢 一ヶ年金五圓三拾錢(前金)
廣告料 五號活字一行金七拾錢 三號活字は五號の二行 二號活字は同三行 一行は五號活字十五字詰
發行兼編輯人 印刷人 京城大和町一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

○御疲勞の御様なし 波多野宮内大臣謹話

今回の大典を擧げらるゝに先ち余等の最も心配したるは玉體の御健康なりし然るに大演習に引續き今回の大禮あり而かも陛下には何等御恙なく芽出たく今日の大典を擧げされられたることは國民と共に同慶に堪へず御式は頗る莊嚴に行はれ勅語の御朗讀は申すも畏し大隈首相の萬歳も立派に出來記念すべき今日の儀式を終らせられたることは國民一同眞に欣びに堪へざる所なり(京都特電)

○一世一代の光榮也 大隈内閣總理大臣謹話

大役を仕終ふせたるは幸ひなり前日までの降雨俄かに晴れ陛下か高御座に著かせらるゝ頃、空澄み渡り天亦た此の盛典を祝ぎ奉れるものゝ如かりし 陛下が高御座に著かれ勅語を唱はりし玉の御聲朗々こして闃寂の殿上に響き渡りし時は森嚴莊重の極みを盡くし前後の三唱は余にとりて一世一代の光榮なり之れを唱へ衆皆之れに和せる刹那は余が胸中に皇運の天壤と共に極まりなく國勢亦た隆盛に進くの祥瑞を現はし得たることを深く印象せり勅語中に『義は君臣にして情は父子の如く』こ宣はれし大御心を體し一層忠節奉公の赤誠を盡し國運の發展に努力する覺悟なり(京都特電)

○叙位、叙勳、贈位

十日多數の叙位、叙勳及び贈位の御沙汰發表せられたり其重なる者如左

▲叙勳

從三位勳一等男爵 澁澤榮一
正三位勳一等 奥田義人
授旭日大綬章(各通)
正三位勳二等男爵 高木兼寛
正三位勳二等侯爵 黒田長成
叙勳一等授瑞寶章(各通)
正六位勳三等 島田三郎
正三位勳三等 犬養毅
正五位勳三等 杉亨二
叙勳二等授瑞寶章(各通)
從三位勳四等子爵 三島彌太郎
從五位勳五等 土居通夫
正七位勳四等 中野武營
從四位勳四等 井上密
勳四等 豊川良平
叙勳三等授旭日章(各通)
從四位勳四等 志村源太郎
勳四等 山川勇木
勳四等 江原素六
鎌田榮吉
天野爲之
從五位勳四等男爵 岩崎小彌太
從四位男爵 鴻池善右衛門
從四位勳四等 村井吉兵衛
正五位勳四等 杉田定一
勳四等 肥塚龍
從四位勳四等 關直彦
正五位 小山健三
德富猪一郎
黒岩周六
村山龍平
本山彦一
叙勳三等授瑞寶章(各通)

▲叙位

從四位勳三等 中橋德五郎
從五位勳二等男爵 近藤廉平
正六位勳二等 安田善次郎
叙正四位(特旨進位)(各通)

▲贈位

贈正一位 故從一位 豊臣秀吉
贈正一位 故正二位 三條西實隆
故正二位 山科言繼
贈從一位(各通) 故從二位 德川頼宣
故從二位 北畠具行
故從二位 龜井茲矩
贈正一位(各通) 故正四位下 源頼義
故正四位 源義家
贈正三位(各通) 故 日野國光

尚ほ叙勳に於ては四等以下六等迄、又叙位、贈位は從三位以下多數あり(東京特電)

○授爵發表無し

十日國家の功勞者に對し授爵の御沙汰ある様傳へられたるも終に發表なかりき(東京特電)

○名古屋以東奉祝

名古屋より以東の各町村横濱横須賀の各所も佳き日の且奉祝の裝ひ凡て成り打ち擧ぐる煙花に一層歡喜湧き各官署にては其れ/\奉祝式を行ひ夜に入りては各町有志提灯行列ありイルミネーションの光照り映えて漸次火の海と化せり(東京特電)

大典と鮮内記念事業 民度に適應せる堅實の計畫

御即位大典の記念事業に付ては徒らに計畫を大にし之れが爲め特に地方民の負擔を過重ならしめ、又は將來維持に困難を來すが如きこと有りては却つて其の本旨に背戾するの次第なるを以て總督府に於ては精細の注意を拂ひ各道に通牒して其事業は永久的且つ穩健實質にして朝鮮の民度に適當すべきものを選び又之が創設並に維持の爲め地方民をして多大の失費なからしむる樣指導を加へたるに地方に於ても能く此の趣旨を體し堅實なる計畫を樹てたり、今其の事業の概要を述ぶれば道府郡面の事業にありては一、植林千百卅一箇所、植樹二百五十八箇所、桐木植栽八十四、桑園八十三箇所等を重なるものとし學校の事業にありては植林二百七十八箇所植樹二百六十個箇所桐木植栽八十三箇所、學校園、農園、花園の類五十三箇所等を重なるものとす、其の他地方の狀況に應じ產業、教育、交通等に關し企畫せるもの其の數極めて多く又其の種類多しと雖も共に穩健著實にして以て至誠の發露を窺ふに足るなり、今之を詳記すれば左の如し

道府郡面記念事業

種別	計	種別	計
植林	一、五二一	竹林	七〇
桐木植栽	八四	水防林道路並木	三六
植樹	二五八	桑園	八三
模範田	一三	苗圃	二八
産業[illegible]	五六	繩叺製造組合	一
森林組合	一二	水源涵養林	一
漆樹植栽	九	楮植栽	二
洑業	四	堆肥舍	二
種牡牛購入	七	牛種付所設置	二
畜産組合	一	種畜共同飼育所	二
[illegible]	一	物産陳列所	八
[illegible]	三七	貯金組合	二一
道路改修	二〇	橋梁架設	八
下水溝新設	一	渡船	三
堤防修築	一	河川改修	一
公園	一〇	公會堂	一
記念碑	一	神社	四

因に咸鏡南道は確定數の報告未濟なるも同道に於ては記念事業として重に農作物の改良統一を計る爲主なる篤農家をして採種圃、模範桑園を設置せしめ又各郡をして悪風改善、勸[illegible]樹の栽培を企てたるもの製莚器、稲扱共同等改良農具の購入を爲せるもの等少しとせず

各學校記念事業

種別	計	種別	計
植林	二七八	植樹	二六〇
桐木植栽	八三	竹林	一
栗林	一〇	養蠶	一
養魚	二	果樹園	一
桑園	八	學校園、農園、花園ノ類	五三
模範田	四	藥草田	一
植物園	六	博物標本蒐集	一
運動場設備	一	校舍增改築	二
校門建設	三	寄宿舍	五
圖書館	六	文庫	三
實習室	一	染織[illegible]	三
記念館	一	商品陳列所	一
報恩會	一	青年會	一
校友會	一	基本財産造成	七
貯金	一三	苗圃	四

本表の外各官立學校に於ける計畫の確定せるもの左の如し
▲京城高等普通學校 桐木植栽一▲桑園一標本室一▲[illegible]一▲家業指導部一

以上二表の外個人事業に於て一郡又は一面を通し各戸に桐苗、果樹、[illegible]

○砲戰激烈 佛國戰場に於て

巴里夜間發表の公報に曰く、ルース●ギブン地方シヤンパニー●タウルの東●方及びマッシージスの北方に於て砲戰行はれたるがアノトア地方に於ては最も激烈を極めたりボージユの近傍に於ては激烈なる擲彈戰ありたり(倫敦電報)

○警告經過公表

支那帝政問題延期に對する日英佛露四國協同警告の交涉經過は十一日一括して外務省より公表する筈(東京特電)

御召狀送達

京畿道に於て饗饌を賜はる可き一千八百五十餘名の光榮者に對し其筋にては十日夫れ/\御召狀を發送せり

仁川聖旨傳達式

仁川管内に於ける假出獄者及び刑の執行猶豫者十一名(内地人七名鮮人四名)は今回の大典に減刑の恩典に浴したるを以て十一日仁川署に於て聖旨傳達式を行ひたるが何れも感涙に咽びたり

歸還兵出發

朝鮮駐箚第九師團步兵第六十九聯隊(平壤駐屯)及び騎兵九聯隊(龍山駐屯)の下士卒約九百四十九名は九日午前九時廿分の軍用列車にて釜山著市内各旅館に分宿し十日午前八時軍用船色丹丸にて石川縣伏木港に向け出港せり

南言北語

鐵拳と獅子吼で名高い大隈總理は今度愈々其の獅子吼で光榮ある名譽のお言葉を賜つた相な▲丁度十日紫宸殿の御儀に於て萬歳の前で總理が萬歳を三唱したのは實に總理一代の譽であつたから總理も一生懸命でやつた▲平生でも獅子吼で名を取つた總理であるが上に一生懸命だから音吐朗々として實に肝者も及ばぬ程であつた▲之れを聞こし召された聖上には大隈なればこそ萬歳の發聲には適當の聲量立派と宜はせ給ふたと漏れ承はる▲萬歳總理の獅子吼は此上もない名譽を頂戴したる譯だ之より益々總理の獅子吼を要する季節が近きつゝある先づ以て支那に光榮ある一喝を頒てよ▲大典參列の爲お上りさんの代議士連の中には珍談も多いとの事であるが晉に聞えた酒豪の花井卓藏君と小川平吉君は夜半過ぎからチビリ/\と車内で始めた▲何れも天下一と飲みの豪傑長鯨の百川も裸足で引く程に酔ふ程に車内は氣焔萬丈▲其處へ上院切つての長廣舌の大關仲小路廉君を先頭に高木益太郎君が襲來したから堪らない▲益々大變となつて給仕は馳手古舞をやる騷ぎ客はまんじりとも出來ず苦言たら/\▲而して豪傑連は其様な事は一切お構ひなく酒が盡る迄飲み明しだと京都へ乘り込み通した酒宵ぢやが▲同乘して居た戸川惠作君などは大に當てられて京都へ著くや腹痛を起した相な▲出年の議會は大分の向きで行けば今日いだらうと京都の代議士間に喝采せられて居るとわざ/\云つて來た

大典奉祝

東を拜めば秋の江も澄めり萬歳を三唱し奉りて 戊江 江口虎次郎謹詠
今や祝ぐ秋津島根のさゝろ聲 中野 有光謹詠
三唱の萬歳高く秋晴るゝ 青木作太郎謹詠
國光新に白人國は霧霽れん 北市 黄天紅謹詠

人事消息

▲立花小一郎氏(參謀總長) 十日午後七時五十分南大門發京都に向ふ
▲具然壽氏(警務官) 同上
▲白井二郎氏(總督府武官) 同上
▲朝倉外茂鐵氏(總督府顧問) 全州大田地方出張中の處十日歸京

文曰 天子九九八十一萬萬歲歲永傾長壽杯 李白
奉祝大典 大石南山謹刻

廣告

本病院長醫學博士李慰滿 W. T. Reid M. D. 儀兼て歸國休養中の處約一ヶ年振にて歸院致し候に付ては今後尙一層業務擴張を計る爲め從來の普通診察所以外特別診察所を增設し茲に晝夜に不拘左の時間に依り熱誠を以て診察に應ず可候
院長診察時間(但日曜土曜を除く)
自午後二時 至同四時 於普通診察所
自同四時 至同五時 於特別診察所
右時間以外は朝鮮醫師にて擔當す
南星病院

大阪府人及同緣故者に告ぐ
本會秋季懇親會開催可致候間大阪人及大阪に緣故を有せらるゝ諸氏は萬障御繰合せの上奮て御來會被成下度此段謹告仕候也
日時 十一月十五日午後正五時
場所 南山町一松葉亭
會費 金貳圓
申込期日 十一月十四日正午まで
申込所 京城大阪人會
申込所 南米倉町 三好和三郎 / 同大門通三丁目 京城寫眞舘 / 同二丁目 新井藥房 / 明治町一丁目 小林右衛門 / 同 山野丑松 / 同 大島良吉 / 本町二丁目 池田長兵衛 / 同 木島時計店 / 同 三田政商店 / 同 中村政次郎 / 京城日報社内 北川吉三郎

廣告
御大禮奉祝の爲京城府民奉祝宴會擧行候に付有志の諸彦は左記御承知の上會費相添へ御申込相成度候
記
一日時 十一月十七日午後一時
一會場 景福宮内慶會樓
一會費 金一圓
一申込期 十一月十二日正午迄
申込所 京城府廳内務係 京城府龍山出張所
大正四年十一月 日
御大禮奉祝會委員

馬拂下廣告
馬二十四頭賣拂ス買受希望者ハ本月十四日午前九時當隊ニ出頭ノ事
大正四年十一月十一日
京城憲兵隊

物品拂下
第一號 旋盤 古 二十萬(?)
第二號 古 木 古 枕 十 五 四 [illegible]
第三號 雜品 龍山倉庫渡
第四號 古局 四十八 九千點
第五號 以上 草 倉庫渡 二萬二千本
第六號 當 古
第十一號 右入札ハ十一月十五日以後(?)
右來ル十一月二十四日入札ニ付詳細ハ局報ヲ見ルヘシ
大正四年十一月九日
朝鮮總督府鐵道局

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

移轉御披露
議居先般來市區改正の爲家屋取壞し左記場所へ改築中の處今般落成と同時に移轉仕り從前の通り營業致候間茲に御披露申上候 敬具
十一月三十日
京城黄金町二丁目(電話一〇一五番)
時計商 喜多金光堂
振替口座七八二番

會員募集 第拾壹回 新學期 十一月一日開講 大特典 入學金免除 學費低減
日本藥學講義錄
講義完成 本邦藥學講義錄界の嚆矢成績甚良而信用最厚(類似の名稱あり注意)
藥劑師志望者にして通學の機會を得ざる者は來りて獨り本講習錄に依り始めて其目的を達し得
東京市丸の内 日本藥學講習會

銀行會社官吏鐵道員養成講義錄
本校卒業者は各自希望通り東京は勿論全國へ就職せしむ現に卒業生は紹介先より多大の歡迎せられつゝあり
速成四個月卒業 一回八十錢 校則無代進呈
東京芝公園 大日本國民通信學校

在滿洲 中野天心先生新著
安心立命 逆順論
定價九十錢送料八錢 四六判五二〇頁箱入
朝鮮李埈公殿下題字 釋宗演老師題字 河野農相閣下題字 頭山滿翁題字 石黒男爵閣下題字 三宅雪嶺博士序
發行 東京 實業之世界社

◎移轉謹告
今般南大門外金物商村上支店の老舗並に商品を讓受け移轉營業仕候
十一月一日
金物商 京城蓬萊町一丁目 白神洋行京城支店 電話三五一七番

酒精アルコール
猩々印特等品。壹等品貳種新荷著精々勉強可仕候
仁川宮町(振替口座京城六八番)
酒精直輸入一手發賣元 鬼頭兼次郎商店

入院隨意(普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目(鈴木醫院跡)
小林醫院
醫學士 小林千壽
電話六九二番

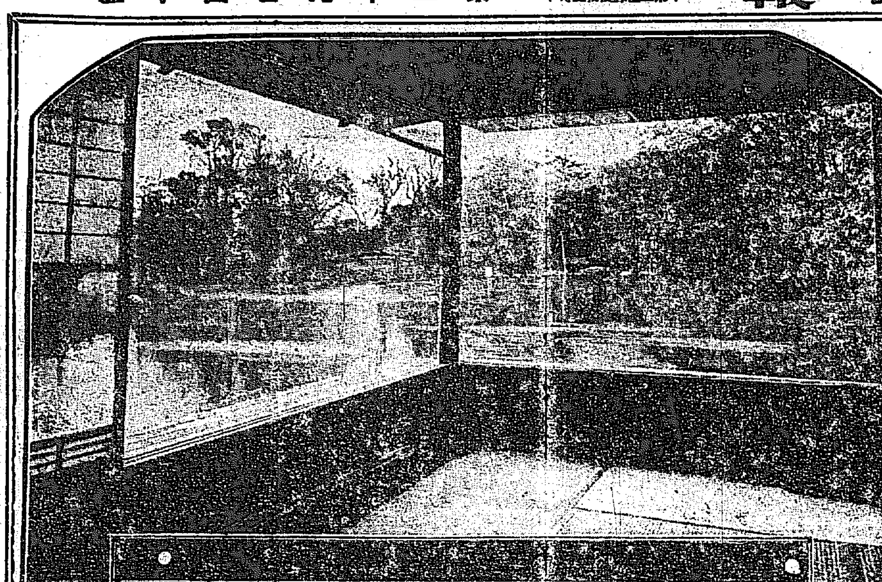
◎參列の東宮

殿下は紫宸殿の御儀にのみ參列あらせられたるが東宮未成年に渡らせらるゝより闕掖の御袍を召し御頭には三山形の空頂黒幘を戴かせられ空頂黒幘とは上部の空たる御冠なり又御袍の色は黄櫨染に似通ひし黄丹色にて鸞鳳藁の御紋を付し織出し参らせたるものにて　聖上著用の黄櫨染より稍々濃き色合にて御袴に召さるゝ半臂表は黒の小葵紋なる綾表を板引となし淺黄の裏を付け黒羅の裳を垂れさせ更に其下紙白小葵綾に黒色重菱の紋を織出したる板引綾の裏を附けたる下襲を著用次に緋の小葵綾板引の裕紙白小葵紋の御衣紅色重菱紋綾の單衣を下へ下へと重ねさせられ紅白二重大口の上に著せらるゝ表袴は白色浮織にて御足には羽二重製の御足袋を召し其上に皮黒漆の靴を穿き御袍の上に御石帶、御笏は山城産のフクラと呼ぶ雜木にて造られ木地のまゝにて御長さ一尺幅二寸五分厚三分と承る（京都特派員特電）

◎舊女官等感極つて涙潸然たり

京都御苑にて奉迎

京都在住の舊女官約廿名は御發輦の日京都御苑にて奉迎せり此の女官の中には先帝御幼少の御時より奉仕し又昭憲皇太后崩御まで奉仕したる高倉典侍、萬里小路（元皇太后宮職御用掛）刀自等を始め當年八十餘歳の老女官藍狄典侍等も見えたり何れも大垂髪に雪を欺く白絹を著し眞紅燃ゆるが如き緋袴を穿ちて建禮門外の左側に威容正しく並列して恭しく奉迎せるは流石に昔の面影も偲ばれて奥床しく見えたり此等の女官は先帝並に昭憲皇太后を桃山に送り奉りて以來餘生を舊都に送るべく宮仕し抔して暮らしつゝあるが今日しも今上の御大禮に遭逢して質に感慨無量胸に迫つて思はず涙の落つるを禁せざりしもの、如し殊に龍顏の麗はしきを御馬車の硝子窓越しに拜し　聖上また先帝以來の舊女官を思召されけん此等に御視線を向け給へるを拜して此等女官の感佩や殆ど譬ふるに辭なく長へて此の盛儀の御鹵簿を親しく拜するとの忝なさ有難さ如何に幸ある吾身なる哉など互に打ち語らひつゝ瑞氣漲る御苑の秋色を眺めつゝ語らふも床しかりき（京都特派員）



李堈公殿下の御部屋に當てられたる枳殼亭の滴翠軒

◎瑞氣漲る

十日の東京市

聖上京都に下りませし日より飾られたる八百八街には金幡銀幡風に飜へり彩華日に映じ神儀華麗然ぼ天に拘らず上野淺草日比谷等の享樂場は更なり各町共人出多く花の日會の婦人連は早朝より各受持場所に陣取りて襁褓襟の裳美しく道行く人の誰彼も買はでは通さぬ意氣込にて夕刻までの賣行中々盛んなり今日の天杯を受く可き名譽の高齢者は腰に梓の弓を張れるが一萬餘人東京府に集まり高齢順に天杯を戴き歡喜措かず欣々と府門を出づるさま人をして天壽の尊きを思はしむ各煙草店は今日賣出の記念煙草八千代の賣出しに忙しく常に葉巻を燻らす人も今日は八千代を買うて聖壽無窮を祈り奉り午後よりは自動車さては小學生徒の旗行列假装行列の數々宮城前に參集し君萬歳を三唱し三時半に至れば折柄打あぐる煙花を合圖に各官衙銀行會社を始め戸毎に萬歳を唱和する聲天地に轟き神田深川芝の各區にては御輿を舁ぎて町々を練り廻り夜に入りては提灯行列の數々日比谷宮城等に押し寄せ恰も火の海に化せしめたるなど都大路は人波を以て埋まれり（東京特電）

◎聖代の恩澤

京城日報奉揭の勅語＝鈴木鍾路小學校長肅然として語る

昨十日即位禮紫宸殿の御儀に於て天皇陛下が高御座より玉音朗かに宣らせ給ひ吾々臣民に降し賜りたる勅語は畏多くも直ちに至急電報を以て吾社特派員より報道し來り本日朝刊第一面に奉揭したるが斯かる遠隔の地に於て數時間の後ち勅語を奉讀し得るは誠に聖代の餘澤として讀者と共に感激に堪へざる處なり市内鍾路小學校にては本日早朝學生を一堂に集め京城日報奉揭の勅語を奉讀し生に對し訓示せる由なるが鈴木校長は記者に語りて曰く『昨日も生徒に對し只今は陛下が勅語を賜はる時間なり、只今は首相が壽詞を上る時間なりと一々御儀式の御模樣を拜察して語り聞かせたるが今朝に至り畏くも其の勅語が京城日報に奉揭せられたるを見て吾等遠隔の地に在る者の喜び實に此上なく予は喜びの餘り一刻も早く此の難有き聖勅を生徒に拜せしめんと早朝禮式の時間に之を奉讀し昨日話し置きたる勅語は即ち之れなりと諭したるに一同藹然として襟を正し子供心にも感激に堪へざる如く誠歡誠喜の情の溢れたるを見たり』とて京城日報の電報の迅速なるに感歎し居たり

◎枳殼亭の李堈公殿下

御多忙中にも古書を御研究

大禮に御參列の爲め上洛　京都下京區間之町の枳殼亭に御滯在中なる李堈公殿下の御近狀を拜承するに枳殼亭は東本願寺の別莊で其の昔左大臣源融公別業の遺跡で、寛永十六年將軍徳川家光が東洞院以東の地を東本願寺の領とし源融公の遺跡も其の一部に加へ其後豐太閤の伏見桃山城の構を移し林園泉石は石川丈山が修造した由緒の深い所で園内には臨池亭、傍花閣、卯月池、臥龍堂、五松塢、侵雪橋、縮遠亭、紫藤岸、偶仙樓、梅渚、漱枕居、回棹廊、丹楓溪の十二景がある、こんもり茂つた庭樹の間から蒲團著て寝たる姿や東山の三十六峰が眺められる幽邃な仙境である、殿下には本月三日京都に御著きになると共に此所に入らせられ十三景の一の滴翠軒を御居間と定められた、滴翠軒は一に臨池亭とも稱し滑らかな卯月池に臨んでゐる、八疊と六疊と四疊半の三室を使用せられてゐる、殿下は必ず六時に起床遊ばされて御手水が濟むと青々とした滑らかな庭園を御散策になる、七時に御朝餐を召されるが御食事は三度とも日本料理で本願寺御用の川助料理店から賄方を派遣して調理して居る、園内に縮遠亭と云ふ十三景の一の建築物がある桃山時代の古建築物であるが殿下には御來著と共に此の亭を眺められて非常にお氣に入り御賞めになつたさうである、殿下には古書がお好きで態々朝鮮から御持參されたものを除暇に御覽になり研究せられてゐる、十日の即位禮御儀式には衣冠束帶の御裝束で御參列に爲つた、御大禮中は何所へも外出されず其の代り御大禮が終ると共に暫らく京都に御滯在嵯峨、御室、八瀬、大原、宇治の名勝古蹟は素より祇園清水八阪あたりの古い建造物を御巡覽の御豫定であるさうだ（京都にて大阪支局記者）

◎清州の奉祝

待ちに待ちたる御即位の大禮日は來りぬ此の日天に片雲なく地に微風なく[illegible]念なし今各町裝飾の大要を記さん

▲本町一丁目　は石橋北詰[illegible]美しく町内入口二箇所には大提灯を吊して華美を極め

▲本町二丁目　には新調の[illegible]裝飾は一層の注目を惹きたり

▲其他各町共　大同小異隔々[illegible]時半號砲の煙花を打上合圖げに陛下の萬歳を三唱したり

▲夜の景況　[illegible]

[illegible]しが今回五十枚餘の寫生と四十枚程の半切書並に六曲屏風に其壯大な山[illegible]を來る十[illegible]揮毫もあるよし

◎祝賀會滿散と婦人會　妙心寺別院にては十二日午前十時より御大典[illegible]

天氣　北西の風晴（十一月十二日午後六時迄）

陰暦九月三十日　西暦一千[illegible]

日出　七時[illegible]　日没　五時廿八分

□考へさせる芝居

龍山佐久良座の『かみそり』

龍山佐久良座の藝術座一行の初日は非常な成功であつた日が二日も七時から滿員、開幕は六時からであつたが龍山は素より京城仁川から見物に來た人々は陛下陛下大入の大盛況である

▲初幕の中村吉藏氏作『剃刀』では、一床屋の女主松井須磨子は床屋の女房お鹿に扮し田邊若男は床屋の主人爲吉に其の他村役者記の勝見に、小學校長中田、參事官宮城部何れも眞面目に演つて居た

▲筋は御案内の通り廿五年以來の自分の職業に厭き〳〵した床屋の主人爲吉が『剃刀から使はれる人間でなくて剃刀を使ふ人間になりたい』と言ひながら幼な友達の參事官になつた男を剃刀で斬り殺すといふのであるが登場の人々が皆活躍して居て人生に對する一種の深い謎を示して居るのは頗る見ごたへある

▲『八錢の御客樣のお鹿で飯を食はせて貰つてるなんて、つく〴〵俺の仕事が厭になつた…』と言ふ爲吉を『それ〳〵人間には天職があるからそれを一生懸命に遣り通すんだ』と慰さめる小學校の校長の言葉に『廿年前にも先生がそんな事を被仰つて下さいましたが、それからズット遣り通しても、つく〴〵下らないとが分つて來ました……』と言ふあたり多數の人の同情を呼ぶ言葉であるまいか

▲幼な友達の岡田參事官を見て『爲らう事なら私も宮澱の家に生れてもう一度小學校から遣り直し度い……秀作さんを踏臺にして私がその背中へ乗つて椎の實を取つた事もあつたつけなあ……月の出てる晩方に……』と泣くあたりほろりとさせる可き場面である

▲お終に參事官を殺して『已はまだ生きてるんだぞ、今日こそ剃刀を使つてやるんだぞ!!』と叫び『オヤ〳〵、已の眼前に已の屍骸が倒れてやがらあ……ざまあ見やがれ』と狂的な凄い笑ひを洩らすあたりには種々なことを考へさせられる

◎記念押捺

一萬六千六百餘回

御大典記念として十日の朝から賣出した記念端書、記念切手等の賣上高に就て京城局で賣捌いた同日午後六時迄の分を聞いて見ると記念端書は七千五百組で記念切手は一錢五厘の三萬二千枚が一番多く次は三錢の一萬八千枚四錢の二千九百枚十錢の二千二百枚等である更らに記念日附印の押捺は總回數一萬六千六百廿一回で中には頗る奇抜なものがある即ち書狀六七一、記念端書一〇、五四九、私製端書一、五五五、官製端書七〇六、名刺六、寫眞二二六、貯金通帳六〇九、風呂敷一二、新聞三三、書籍二七三、寫眞臺紙一〇、扇子五九五、手巾一二〇、貯金臺紙八〇三、封筒二七七、手帳三六、旗二、財布二六、寫眞帳一四、絹織七、チョッキ二、帽子六、軸物二、諧四二

◎鄭鎮守暗殺せらる

上海鎮守使鄭汝成氏は日本總領事館に向て自動車を驅りつゝある途中ガーデンブリッヂ角のアストル ハウス ホテル側にて爆彈を投せられ病院に送らるゝ途中絶命せり（上海特電）

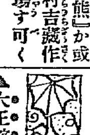
◎未曾有の盛況

龍山の藝術座劇　連中見物おほし　復活は今夜だけ

龍山佐久良座の藝術座劇は非常なる人氣の間に初日を開けたるが二日目の十日の夜は三等席は六時滿員其他も七時半には寸錐の餘地なきまでの盛況にて大入札を出し三日目なる十一日夜は朝鮮銀行三井物産其他銀行會社等の連中見物あり不相變佐久良座未曾有の盛況なるが脚本は三日目まで『剃刀』及び『復活』にて十二日夜乃ち四日目よりはズーダーマン原作『マグダ』及びチエホフ原作『熊』か或はワイルド原作『サロメ』中村吉藏作『飯』『闘笑』かの何れかを上場す可く兎に角今回の興行にて須磨子のカチユーシャを見得るは十一日夜のみなりと

◎途上で御芽出度

京城雲泥洞金姓女方同居勞働朴明雲妻李金成(三)は姙娠臨月にて八日産氣附きたる所家主金姓女は同日所轄をなすに際し産婦ありては差閊ふるに依り他にて産すべしと追立てたるより已むなく出で行きて午後三時半頃同洞恩賜授産場外壁迄至りたるに急に出産し路上にて嬰兒を分娩したり附近に居合せたる者等は驚きて種々手當を施しやりたる爲め母兒共壯健なるが勞働先より歸宅したる明雲も驚き同洞交番に届出でたるより警官出張種々斡旋し金姓女を諭して産婦を歸宅せしめたり右の事情を聞知し殊に貧困なるを憫れみ近隣の金永奎李榮植は各金一圓を其他十數名の特志者より金品を惠與したり殊に内地婦人二人も古蒲團或は衣類等を與へたりと何れも奇特の事なり



▲大正館　十一日より寫眞全部を取替へたるが御即位大典御盛儀の實況は素晴しい早いものといふべし

△寛永劇の花△滑稽獨れ曲△寒紅讀んだ儀△新派悲劇迷の巣△探偵活劇黒鬼△御即位式御大典の實況二重橋御發輦より東京驛御乘車市内の光景、京都御著輦並に市内の實況△喜劇明烏十男士

▲黄金館　從來の寫眞の外に御即位御大典實況の寫眞到着せるを以て差加へたるが大正館同樣頗る目新しきものなり

奉祝御大典

仁川府海岸町
定期米賣買　株式公債賣買　現物賣買　米穀委託賣買　倉庫業
營業課目
三巴仲買店
電話一二一　四一番

奉祝御大典

會席御料理

仁川仲町
朝日樓本店
電話五三番

仁川敷島
朝日樓支店
電話二五三番

仁川ホテル
西洋料理を主とし輕便な和料理も調進いたします
玉突、圍碁、將棋の娯樂設備仁川唯一の社交機關であります

奉祝御大典

仁川酒商組合
本莊酒店　電話一一九番　振替一一六四番
河野本店　電話二一八二番　振替一一三八番
田中良助　電話九三三番　振替三三八番
田中作二酒店　電話六二五九番　振替六〇九番
宅合名會社仁川支店　電話三六一九番　振替一四番
中野常次郎　電話一一四〇番　振替一一番
増本酒店　電話六一〇九番　振替一九九番

奉祝御大典

仁川山手町
仁川病院
電話一六番

奉祝御大典
仁川新町三丁目
高雄仁川支店
電話二七七番
京城黄金町三丁目
高雄京城支店
電話七一六番

奉祝御大典
歐米雜貨、支那織物商
仁川支那町
義生盛
電話八一八番

奉祝御大典
仁川本町
北島藥店
電話二三四番
振替口座京城六七番

奉祝御大典
西洋御料理
仁川本町三丁目
東洋軒
電話五一九番

奉祝御大典
仁川花町一丁目
木材商會
花町賣場　電話三三番
萬石町賣場　電話二二八番
京城永樂町三丁目
同出張所
電話四二八番

奉祝御大典
土木請負業
江華島花崗石販賣
仁川萬石町
稻田組
本店萬石町　電話四四番
出張所税關構内　電話二一番

古市町郷長野中貞熹病氣の處九日午前十時死去致候に付此段謹告候也
追て葬儀は十二日午後六時仁川山町本願寺に於て相營候
男　野中高志
親族一同

…紅を呈す頭より市中は綺麗に掃き清められ各戸至誠奉祝の準備對策に餘念なく…挿し各戸注連繩萬國旗國旗奉祝燈等…花の造物を…に靑松に萬國旗…据付け萬國旗を引廻して一糸亂されぬ…内に軍人は憲兵隊に在鄕軍人は憲兵分隊に一般人民は兩公園に參集し三…箇月前より金剛山に寫生旅行中なり(くことゝせるが…[illegible]…家の席上

各地奉祝

▲平壤の奉祝

待ちに待ちたる十一月十日は來ぬ、夜來の密雲拭ふが如く一掃せられ、秋旻一點片翳の遮るなく、暑からず寒からず眞に絶好の『御大典日和』なり、此日平壤市中は各戸に國旗を掲げ奉祝の二字を大書せる華かなる提灯を吊し町内と町内との間には町名を記せる大提灯又は奉祝の二字を顯はせる種々の飾物を掲げたる

▲綵門を樹て 大國旗を金風に靡かせ或は兩側の並木に櫻の造花を結び宛として花のトンネルを潜るが如き思ひあらしむるなど趣向は千差萬別なれど奉祝の誠意は一にして道ゆく人の顔にも抑へがたき欣びの色みえつ、先づ氣も心も淸々しき午前八時頃よりは一時間の後に開始さるべき

▲天盃捧授式 に列席の光榮に浴せる文武官の劍光帽影に今日の佳きはひは始まり聖世に壽ければ嗚呼多きに感涙とゞめあへざる翁媼は子や孫に扶けられつゝ早や道廳の構内に犇々と詰寄す、軈て定刻に近くや係員は右往左往して親切に彼等を樓上へ導けば然も廣き會議室(及官房、庶務室)も立錐の餘地なく溢れたる者廊下階段果ては階下に溢れたり、式は既報の如き順序にて最も嚴かに行はれ道長官代理篠田第一部長擧式の旨を宣し來賓大橋警務部長、本田府尹、大同郡守の祝辭あり高齡者總代尹永基答辭を述べ式後一々本人(若くは代理)に天盃並に酒肴料を傳達すれば何れも今更の如く聖恩の鴻大無邊に感激し老の眼に有難涙のやどるを見受けたり、次で

▲各官衙學校 にては午前十時より午後二時頃までに夫れ〳〵御大典奉賀の式を擧げ所屬官公吏及び教員生徒參列し聖壽の無窮を祝ぎ奉る間に午後三時三十分乃ち大隈内閣總理大臣が萬歳を唱ふる時刻に近づけば禮裝せる一般民衆は税關前廣場なる

▲官民奉祝會 會場へ參集す瑞氣山上より天に轟く一發の號砲は即ち五分前の合圖にして宮川司會者壇上に現はれ一場の挨拶を了り休憩を宣して待つ程もなく鐵道機關車工場の汽笛寺院の鐘は天地を震撼し轟然一發煙花天に冲す

司會者宮川五郎三郎氏は襟を正して天皇陛下の萬歳を唱ふるや衆之に和し所定の順序亂れず萬歳を三唱し奉る聲は瑞氣山上四百の餘韻、各官公署學校及び平壤一萬戸の家庭に於て三唱する聲と相和し山川爲に動くかと思はれたり、程なく官吏も來場し一同平南の銘酒黄海を平安燒の盃に滿々と受けて祝盃を擧ぐ入場者

▲約一千名 と注せらる、紅白の幔幕を出でたる群集は三々伍々市中を散歩し平壤實業青年會の主催にかゝる店頭裝飾の見物に餘念なく、磁石の如く路行く人を索付くる店飾り、人の心を賑りて不知不識巾著の紐を解かしむる巧妙なる飾窓の品評めに時を移す間早くも釣瓶落の秋の日は暮れて軒毎に吊せる提灯は勿論紅白門の上綵門の周圍に電燈燦として輝けば滿街煌々晝を欺くばかりにて人出は更に加はり斯くて曠古の盛儀御大典第一日の夜は更けぬ

▲群山の奉祝

曠古の御大典 聖上陛下御卽位御大禮當日十日群山に於ける奉祝狀况を報せんに各町各戸國旗軒燈を掲げ七五三繩幔幕を廻し萬國旗球燈造花を以て裝飾し各町境毎には大綵門大國旗を樹て市街要所に大アーク燈を設備し滿街造花と球燈を以て飾られ其の壯麗なる宛然櫻花爛熳たる堤花のトンネルを見るの思ひあらしむ

▲府廳拜賀式 郡山郡廳に於ては十日午前九時三十分より同十時三十分に至る間樓上上壇に御眞影を奉安し日鮮官民の拜賀式を擧行したるが參列者數百名に達し嚴肅に式を終りたり

▲天盃捧授式 十日午前十一時より群山府廳樓上に養老式を擧行し府内八十歳以上の高齡者内地人四名朝鮮人二名に對し聖上陛下御下賜の天盃御酒肴料拜受式を行ひ天野府尹の手に依り其々授與せられたり

▲各學校の拜賀式 群山各學校に於ては十日午後二時三十分より各生徒を召集し御卽位拜賀式を擧行し午後三時三十分に至るや各校職員生徒は東方に向ひ最敬禮を行ひ各校長の發聲にて陛下の萬歳を三唱したり

▲官民の萬歳三唱 群山官民一千餘名は萬歳を奉唱すべく午後三時群山神社境内に參集し號砲(煙花)一發午後三時三十分を報ずるや參列者は一齊に東方に向ひ最敬禮を行ひ續て司會者天野府尹の發聲にて參列全員一齊に萬歳を三唱し同時に群山各精米工場及び港内碇舶の各汽船は一齊に汽笛を鳴し府廳警察寺院の梵鐘を打鳴し全市の光景壯嚴を極めたり

▲公州の奉祝

各町内に於ては嶄新なる意匠を凝し御大典に因みたる種々の裝飾を爲し各町の爭うて赤誠を發揮したり本町旭町、常盤町、錦町、山城町、大和町其他各町に於ては町内全部靑と白の幔幕を張り注連繩大提灯を掲げ、松を立て各町の出入口には大なるアーチを建立し、盆栽菊花等の陳列を爲し、國旗を立て萬歳旛を張り廻し美にして莊嚴なる裝飾を爲し極めて靜肅に祝意を表したり

▲記念植樹式 午前九時百濟の舊都熊津山城南門樓上に官民一同集合し、神官の守鎭祭の式を擧げ澁谷第一部長より一般植樹に關する注意を爲し九時三十分一同植樹に移り十時二十分約千本の植樹を了せり因に御大典記念植樹の大なる記念碑を建立し、其周圍に樅、楓を上官自ら植樹を爲したり

▲道廳の奉祝 午後一時半廳員一同參集一時五十分一同著席澁谷第一部長々官に代りて御眞影開扉一同最敬禮を爲し君が代を謡し、勅語捧讀に次で部長より御大典に就ての要旨講話あり 天皇陛下萬歳を三唱最敬禮を爲し、閉扉し奉り式を終る

▲官衙其他 警務部、警察署、守備隊、裁判所、郡廳、小學校、普通學校、農業學校、慈惠醫院等に於ても總監達の通り嚴肅の裡に奉祝す

▲民間の奉祝 櫻山公園招魂社前庭に市民一同參集君が代を合唱し委員長の發聲にて京都に面し萬歳を三唱し遙に奉祝を表す

▲天盃捧授式 公州に於ける高齡者にして天盃及び酒肴料を賜はりしものは本町江崎とも(八七)旭町崔東柱(八六)常盤町丁永瑞(八七)常盤町金氏、常盤町趙氏、州外面文氏、州外面柳氏の七名にして文氏柳氏の二名は當日は席を缺けり、午後三時五十分一同著席四時開式澁谷第一部長長官に代りて天盃傳達式をなせり

▲平澤の奉祝

平澤にては警察署、振威郡廳、學校組合、面役所、商銀支店等公私共各其長の主催にて一齊に三時三十分を期し奉祝擧式と共に萬歳を三唱し、了りて四時より平澤尋常小學校に於て官民合同祝盃を擧げ各自歡を盡し萬歳聲裡に散會せしは午後五時半なりき當日式に會するもの九十餘名なりしが夜間は鼠黨嚩を曳廻し朝來驛構内廣場には自轉車競走の催し等頗る日章旗と共に近來稀なる殷賑を呈せり

▲御大典と大連

滿洲に於いて最も多くの邦人を有する大連にては御大典奉祝に就いての意氣込も催しも勢ひ全滿洲に冠たる譯にて一切の準備は九日迄に悉く完了し十日より滿市歡呼に滿ち各自熱誠を込めて奉祝せり

▼大連音樂堂 は御大典記念奉祝會の發起にて西公園グラウンド東側に建設され九日午後三時落成式を擧行し御大典當日は此の傍らに別に式場を設け盛大且嚴肅なる奉祝式を行ひ猶ほ大連市役所の手にても市民奉祝の大會を催せり、大連は元來街衢美を以て聞えたる處なるが今次の御大典に際し種々に意匠を凝らしたる裝飾を施せる爲め

▼一層の街衢美 を發揮し大國旗、旭旗、大綵門、萬歳旛、大提灯、球燈、注連繩、榊、花笠、幔幕、造花、其の他を以て滿街漏れなく盛裝せられたる其の美觀得も言はれず猶ほ街路を縱橫に走れる電車は滿鐵日兩社の催しにて數臺を花電車として各町は又思ひ〳〵に種々の裝飾をなし飾物、山車、踊屋臺など作りお祭り騷ぎとならざる程度において市民歡喜の至情を表現するに努めたり殊に美觀を呈せるは

▼日本橋の裝飾 にして橋上橋下に亘り一面の電飾を施し之れに五彩の旗を綴らし紅白二種の布にて橋の要部を彩とり壯麗目を奪ふばかりの意匠を凝らせしところ正に裝飾の白眉といふも溢美にあらず滿鐵會社は奉祝の爲め約三千圓を投せるが此の日本橋の裝飾の外本社及び別館前、埠頭、電氣遊園、驛、大和ホテル等にも扁額、萬國旗、イルミネーション其他種々の裝飾を施し猶ほ花電車數臺も悉く電飾され要所要所に篝火を十四個ほど點じた爲め夜の光景は別して美しく

▼滿街火の海 と化し正しく一大不夜城を現出せり又夜分は學校生徒、市民、各團體の奉祝提灯行列もあり一層の殷賑を加へたり喜ぶべきは在留外國人を始め支那人に至るまで相共に御大典奉祝の爲めに意を致し國旗、球燈を掲出せるは勿論進んで寄附金を出し種々の催しにも參加し支那町といはるゝ小崗子においても邦人と共に奉祝の意を熱心に表示したり當に是れ

▼皇澤隣邦の民 に及ぶとも稱すべく帝德の至大なるを今更の如く感知せしめたり關東州管内金州の支那人も在住邦人と共に例の高脚子其他の催しを演じ盛んに祝意を表したり慶すべき哉(大連)

商況

東京株式特電
未着

債券現物特電
未着

東京期米特電
未着

大阪株式特電

銘柄	拂込額	八日後場止値	十一日前場
宇治川水	五〇、〇〇	……	六六、〇〇
阪神電鐵	五〇、〇〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇〇	……	四四、三〇
和歌山水	三五、〇〇	……	……
台灣新線	二〇、〇〇	……	五二、六〇
南滿鐵	四〇、〇〇	……	三一、六〇
同上新株	三五、〇〇	……	六四、四〇
東洋紡績	五〇、〇〇	……	一七、四〇
大阪商船	五〇、〇〇	……	八五、七〇
日本郵船	五〇、〇〇	……	一二〇、〇〇
大阪米穀	五〇、〇〇	……	一三八、七〇
東京新株	三五、〇〇	……	一四四、七〇
大阪株式	五〇、〇〇	……	一〇七、〇〇

大阪三品特電
△十一日前場

	寄付	大引
十一月限	一七、二〇	一七、三〇
十二月限	一七、九〇	一八、一〇
一月限	一八、九〇	一八、一〇
二月限	一九、九〇	一九、八〇
三月限	二〇、九〇	二一、〇〇
四月限	二一、七〇	二一、六〇

大阪期米特電
△九日前場

當限寄付	一三、四三
中限寄付	一三、五〇
先限寄付	一三、九四

止め

下關期米特電
△十一日前場(河照り各地安手詰賣にザリ安歩調)

	當限	中限	先限
寄付	……	三四	三、六
高値	……	[illegible]	[illegible]
安値	……	[illegible]	[illegible]
止め	……	[illegible]	[illegible]

朝鮮物產特電

釜山改玄	一二、〇〇	釜山大豆	八、〇〇
馬山改玄	……	慶山大豆	……
群山改玄	一〇、八〇	浦項改大	一二、四〇
浦山倭玄	一一、〇〇	元山別大	……
木浦改玄	一〇、四〇	鎭川海背	八、七〇
同特改	一〇、七〇	城津大豆	九、二〇
南浦改玄	一〇、七〇	鎭南浦大粒	八、二〇
仁川改玄	一〇、〇〇	堤川大豆	八、七〇
同	[illegible]	平城大豆	……

雜報

▲主力株跳返す 十錢安 大豆は物により二十錢高 …[illegible]…

相場の大勢 …[illegible]… 大株二圓三十錢 東新一圓十錢方跳返せり …[illegible]…

▲織物と糸價影響 …[illegible]…

下關相場

…[illegible]… 况を望難し例年の如き活況 …[illegible]…

▲五倍子依然不振 …[illegible]…

▲移出米の其後 白米 …[illegible]… 正米も小安 …[illegible]…

▲浪平板益々値上 …[illegible]… 一圓四十錢 …[illegible]… 更に五錢方 …[illegible]…

▲困難は益々甚し 新期約定の …[illegible]…

▲金物愈々强硬 …[illegible]… 多數が東京に吸引せられし大阪在荷の昂騰は實現 …[illegible]…

▲糖界の近況 …[illegible]… 在荷處分と舊糖消費 …[illegible]…

▲吳服は三五步方上鞘 を呈するに至れり …[illegible]… 品不足 …[illegible]…

各地商況

○木浦(九日の米穀)
▲米況 定期の持合につれて當市場も大なる變動なく出廻りの關係上作前市は活潑なる取引を見ずされど少量の籾は大走りに走つて三圓にて數百俵の取引ありたるが二圓八十五錢位より九十五錢の呼聲も聞えるならんかと認ぜらる尚松汀里の中白は十圓五十五錢古籾七十錢より六十五錢見當なり

▲朝鮮一等白米(當用)	十三圓四十錢
▲同	十三圓五十錢
▲同	十三圓三十錢
▲同特一等品(當用)	十三圓三十錢
▲同二等白米(當用)	十三圓十錢
▲倭館大豆	八圓四十五錢
▲同	八圓五十錢
▲永洞大豆	八圓七十錢
▲大田大豆	八圓六十五錢

京城正米

十錢乃至十五錢鮮白も不味 …[illegible]…

南大門廻着米

十日分

平澤玄米	一二叺
平澤玄米	一二七叺
金村籾	一九〇叺
平澤玄米	一四六叺
平澤白米	一〇八叺
太田胡麻	一三一叺
鳥致院胡	一四〇叺
西井里玄米	二七叺
平澤白米	七六叺
金村白米	一九叺
汲山白米	一一叺
汲山籾	五一叺
鳥致院籾	三一叺

十一日分

金堤白米	二五叺
平澤白米	二〇一叺
鳥致院胡麻	九〇叺
金村籾	三四叺
金村胡麻	二九叺
連川籾	二〇叺
金泉胡麻	一〇二叺
平澤玄米	七〇叺
平澤場籾	二四叺
平壤白米	二七叺
南浦胡麻	六五叺
南浦白米	六九叺
連川白米	一〇叺
全義白米	三五叺

仁川現物市場

△入港籾約千三百俵 △中白米約二百叺 △大豆約千五百叺 …[illegible]…

生魚市場

着荷は少なき方にあらざるも併大典祭の爲め …[illegible]…

仁川期米

▲十一日前場 大阪寄末強 …[illegible]… 四錢安の入電 …[illegible]…

市場零聞

▲前場の商戰 …[illegible]…

▲前場小堅し …[illegible]…

㊀今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
電話 長三三七番・三六八番
電略イヌ

▲兩幹部の應戰 …[illegible]…

▲底强き散會 …[illegible]…

▲期米目先觀 …[illegible]… 檢米實施は …[illegible]… 多少人氣に影響 …[illegible]… 强材料と認 …[illegible]… 乘替買を强行 …[illegible]… 等稍市場の注目 …[illegible]…

▲腰入來らん …[illegible]… 挑戰的商内 …[illegible]… 附和雷同 …[illegible]…

仁川米豆取引所 十一日の一月限

前場

寄附	九圓三十八錢
止〆	九圓四十錢
高値	九圓四十一錢
安値	九圓三十八錢
出來高	一萬千三百石

平均値段

一節	九圓四十錢
二節	九圓四十一錢
三節	九圓四十一錢
四節	九圓四十錢
五節	九圓四十錢

買賣取組高	
十一月限	六千三百石
十二月限	二萬千三百石
一月限	三萬四百五十石

出來値比較	寄附	止め	高値	安値
九日後場出來	九、三八	九、七三	九、三八	九、三六
前日比較	四高	五高	五高	二高

顧客本位 正確迅速
三 仲買店
仁川米豆取引所仲買人 ヤマサ・ビキ
電話四五二・二三番

北濱だより

△宇治水電株 …[illegible]…

小賣白米

一等白米	十三錢
次白米	十二錢五厘

奉祝御大典
日鮮向雜貨、鍋、釜 諸金物直輸入卸商
合資會社 仁川京町二丁目
玉植商店
電話六五一番 振替京城四一五

奉祝御大典
仁川穴門通 電話七六八番 新門本店
仁川歌舞伎座前 電話二〇九番 新門支店

奉祝御大典
最新流行 高等裁縫
仁川本町穴門通角
磯永洋服店
電話二二五番

奉祝御大典
仁川本町
旅館 花屋
電話五四三番

奉祝御大典
仁川郵便局前
旅館 原金
電話三三番

奉祝御大典
仁川濱町
仁川旅館
電話三五番

奉祝御大典
仁川濱町
旅館 旭屋
電話二五一番

奉祝御大典
仁川穴門通
產婆 江木蝶
電話二三五番

奉祝御大典
仁川穴門通
田中タケ
電話二〇五番

奉祝御大典
仁川新町
產婆 有馬操
電話六四七番

奉祝御大典
仁川寺町
產婆 芝モト
電話四一八番

奉祝御大典
仁川濱町
土井鐵工所
電話三一八番

奉祝御大典
仁川濱町
(中) 中川鑄工所
電話三一七番

奉祝御大典
仁川本町
藤村硝子商
電話三二番

奉祝御大典
雜貨商 製麵業
仁川京町通
河内秋之助
電話三四三番

奉祝御大典
會席御料理 並に仕出し大勉强
仁川宮町
食道樂
電話二五五番

奉祝御大典
會席御料理
仁川宮町
榮亭
電話四二九番

奉祝御大典
酒精アルコール直輸入
仁川花町一丁目 坂倉商店 電話六五〇番
京城吉野町一丁目 坂倉支店 電話二四四一番

奉祝御大典
海陸運送、穀物斗量 人夫請負、通關取扱 鐵道運送
仁川本町三丁目
一心組
電話七一四番

奉祝御大典
會席御料理 うなぎ 仕出し 壽司 辨當
仁川本町
料理店
電話三二四番

奉祝御大典
會席御料理 すし 辨當
仁川宮町
三福
電話一七八番

奉祝御大典
つちや足袋代理店
仁川新町
野田紙商店
電話四四四番

越後大評定

第四十一席　早川貞水口演

金三郎の駕籠訴

そこで治助は匆々旅の支度を取り、奥へ来て見ると、松屋夫婦、萬屋の御内儀さん、番頭六兵衛、若旦那金三郎、みな既う正體もなく其處へ泣き沈んで居る　治『さて六兵衛さん　六『オゥ、是は治助殿、よく御戻り下すつた、概略道で御聞きかは知らぬけれども、是はく　治『イヤ其事は今承摘んで聴きました、大變な事で、併しながら御嬢様の御心底は御見上げ申したもの……申し若旦那様貴下は立派な御内儀さんを御迎へになつたが、殿様の御亂行より、飛んだ事になりました、とは云ふもの、既う死んだ御嬢様、幾ら御嘆きになつても仕方がない、此上からは是非に及ばぬ、斯うなさい、今私は来る道中で聞いて参りましたが、此御城下へ、信州諏訪郡高島城主、御當家の御附家老小栗美濃守様が御乗込みになるとの事、何うも私が子を窺つた所では、此美濃守様は、殿様この節の御不行跡を御諫言のため御入来になつたやうで御坐います、就いては是は此御方に駕籠訴をなさい、御採上げ下さい、父の大事、御家の大事、御願ひで御坐いますと、貴下が決心なすつて御訴へなさい、其願書は私が認めます、六兵衛さん、貴下附添つて御出でなさい　六『ア、委細承知いたした……サア若旦那、貴下小栗美濃守様へ御駕籠訴をなさい、治助殿の云ふ通り、最早茲に至つては是れより他に道は御坐いませぬ、私が附き添ひますから、御心を確かに御出でなさい　金『ア、宜いとも承知いたした』それでは御城下へ御乗込みになつてからでは不都合だから、町外れの松並木の所が宜からうとなつて、夫から治助が世才に賢いから、忽ち願書を認める、若旦那金三郎支度に及び、青竹の先へ願書を結び、番頭六兵衛附添ひ、固より縄に掛る事は覺悟『それでは希うが宜しく』と、是から二人、御城下外れの並木の所へ来て、今や遲しと御待受をする、所へ『エー、ホー』制止聲で御坐いまして、御行列堂々と乗込んで御光来になつたのが、附家老小栗美濃守、いま御先供が通つて、御駕籠の近づいて来るのを見ると金三郎『御願ひで御坐います、御採上げを願ひたい、城下町人萬屋金兵衛倅金三郎、父の大事、御採上げを願ひ奉る』と、バタく〜ツと駈出る、後から番頭六兵衛『早く御出でなさいツ』と御尻を突く、ヒヨロく〜ツと前の方へ搖け出る　○『コレツ差越し願ひは相成らぬ、順を以て願ひ出ろ　金『御願ひで御座います、父の大事、御當家の大事と聲を限りに呼びますから　○『いかぬ、控へろ、控へろツ』肩の邊を突かれ、ヒヨロく〜ツと後へ退ると、番頭六兵衛　六『早く御出でなさいツ　金『御願ひで御座います』云ふのを　○『控へろツ　金『父の大事、御採上を願ひたい』斯うなると一生懸命、金三郎御駕籠側の御侍の袂に縋る　○『コレ、衣類が切れる、放さぬか質の値が下がる』そんな事は云ひませぬ、右の紬の袂へ緊乎つかまつて『御採用上下さい、御採上げを願ひます』御駕籠の内で御聞き遊ばした小栗美濃守『さては近頃殿御亂行、先頃は百姓を鐵砲にて御打ち遊ばしたりとのこと、斯りや城下町の某へ對し、又殿より如何なる御無理があらうも知れぬ』と思召されました。

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病
腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　痳疳　皮膚病
專門
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話一四九一番

十一月十三日九星
舊十月七日　戊申
本命七赤　西　納　佛滅

▲七赤　物忘れする事有り注意　新事見合れ　酬の事は吉　晴朗四▲八白　幸運の日　轉居入學金件々弘　求職　探訪旅行　取火力利用　藥　皆吉▲九紫　不慮面目の事有日　新事手控　萬事は吉　萬丁寧にせらるべし▲一白　親睦の日　轉居旅行入門名弘出　漁　求職　相續　水　商賣　萬吉▲二黒　幸運の日　居入學等吉　女子は意外の立身を爲す　大吉祥の日也▲三碧　女難　おさしもの用心の日　新事手控　萬事樹を植ゑるは吉▲四緑　不進不退の日なれども新事控目の方吉　萬事農桑は妨なし▲五黄　不圖善事を施して大德を得るの日　萬進で利有待　人疑音を聞へ來る▲六白　大願成就の日　轉居　商　皆吉　進で吉　萬事中　禁を圖るに妙

演藝案内

壽館　壽町　電一〇五〇
毎度御引立を蒙り居候　本町二丁目　壽館　此度小斗の吉田虎右衛門一座　合同一座にて三日より向ふ三ヶ日を限り木戸代共に供すべく候間　御来館の程願上候　壽館經營者

御成座　成町　電話二九一
五十六回替藝題
不浪女代作
（一）『清無情全』
（二）喜劇『寶の入船』
大人（一人前）金二十錢　小人…場代入らず早い時
登場俳優手摘大車輪にて御覧に入れます
全七場　全三場
小島旅之助

大正館　櫻井町　電話八七三番
十一月十一日より寫眞全部取換
○實寫…○喜劇…○新派悲劇　迷の果　全三巻▲舊劇　怪談…▲實寫　御即位御大典之御盛儀之實況▲第一報　二重橋…東京市内の光景▲第二報…最近の傑作…舊劇　明烏　十勇士　全三巻　五十八場

有樂館　本町一丁目　電話二六六
新築落成
十一月八日より優秀なる新寫眞提供…○活劇…新派悲劇…▲活史劇　祖國…大作…◎女侠客　血櫻　お駒　全五十場…

浪花館　明治町　電話二六〇番
美甲齋虎丸　演題替り
雨夜の鐘　四ツ谷怪談
江戸の侠骨　加賀蔦
毎夜午後六時より開演仕候

佐久良座　龍山
松井須磨子一行
九日初日演
一、復活『カチューシャ』
二、剃刀『新社會劇』

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七
龍光館　龍山停車場前　電話（龍山）四番
十一月十六日より特別大興行

絹の買時
京都市松原烏丸西　京染呉服卸問屋　勝馬商店は今回御大典記念として染絹の破格賣出しをなし各地よりの注文は日々發送に目も廻る繁忙なるが此賣出しは世間一般の販路目的とし御利益を原價以下に賣出す事なれば普通品の半額位に相當す至急御注文ありて如何に其格安なるかを御試しあれ
節白絹（尺物）參圓六拾錢
同色絹　同　參圓八拾錢
同紅絹　同　四圓五拾錢
白紅絹　同　四圓五拾錢
紅絹　白紅　五圓也
八橋織　各六圓廿錢
御注文次第引換便に送る送料實費

新案特許素人用
痲病　梅毒熱氣療法
痲病梅毒　男女　自宅簡單　秘密
東京神田今川橋　博愛醫院　電話神田七三三番

月やく
月やくとまり他の病で御心配の方東京で一番信用ある私方へ三錢切手添へ申込めれ害なく不思議に下る妙薬を知らせます
東京市四谷傳馬町　森田屋

満洲　五龍背溫泉
安奉沿線五龍背驛を距る二丁　閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
風光絶佳にして一大樂園地なり
諸病に特効あり理想的療養場なり
宿泊、下宿、自炊、各様の設備あり

期米
取引確實
期米賣買之栞無代進呈　前金注文は紹介を要せず
大阪市北區堂島濱通一丁目　大阪堂島米穀取引所仲買人　入江商店
電話長　一六九五　二七三六一

流經新薬　レスノリン
月やく
とまり四五ヶ月以内に効果てきめんに現はれ其流經作用は他薬に優越す
一瓶壹圓　送料三十錢　切手一割増
大阪市北區曾根崎上一丁目　發行所　常盤薬院　振替大阪二八三七〇番

胃病良薬　太田胃散
◎飲過ぎ食過ぎに妙なり
本舗　東京日本橋區　太田信義
▲全國到る處の薬店に販賣す

滋腎　春丸
陰萎病並に神經衰弱に大効あり
岸田吟香　東京銀座

書法
本書は我書道研究會講師…の著述せる書法の…草、隸、八分、…を一々圖解説明し…
發行所　京城…

成功致富　株式相場　講義録
本社々長高柳氏は無一文より僅か十年間に拾餘萬の富を作り…
會則進呈
東京神田表神保町十　富强世界社

無金返効　百圓進呈
痲病　黴毒
一週間分　特製參圓　普通貳圓　送料十二錢
一週間分　特製貳圓　普通壹圓　送料十二錢
右新劑痲病薬は治痲劑として微毒薬と共に内服薬として方今世界の醫學上薬學上第一の効と確認せられ東京、京都、九州帝國醫科大學病院等に於て…
◎あらゆる治療法を講じて尚効無き患者諸君よ。兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ
◎本剤は他店に無し　無効の時は薬價を返金す
本舗　大阪合資會社　ドラッグ商會
京城南大門外　ドラッグ商會朝鮮本部　電話長二五七番　振替京城四六七番
支店　黄金町　龍山漢江通　元山仲町　釜山南濱
りん病　ばい毒　專門藥房

衛生經濟　兼備の逸品
是非一度御試し下さい
見本足金四十錢（郵税不要）
東京市日本橋區小傳馬町
發賣元　寺田淳平商店
振替東京八三六七番　電話浪花二三八〇〇番

特約販賣　御希望の方は御照會をこふ

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢四厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社　十八銀行京城支店
京城黄金町　電話四二〇番、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

タンセキ特効薬
如何に重きタン、セキも本劑を服用せば胸苦きを和げ、タンを去り咳を鎭め安眠の効最も著大也
呼吸器散　價　十日分 四十錢
呼吸器丸　四十五錢
主効　かぜのたん、せき　肺のたんせき　喘息　呼吸苦しく、咽喉の腫れたるもの、聲嗄れ
大阪　東京　丹平商會　製劑は全國にあり

婦人科　産科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目　院主　衣笠茂
中央婦人病院　電話二三四〇番

かぜねつの最良薬

かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

朝鮮煙草株式會社
兩切煙草　パラダイス　十本入金貳錢
兩切煙草　ホワイトコスモス　二十本入金貳錢
電話

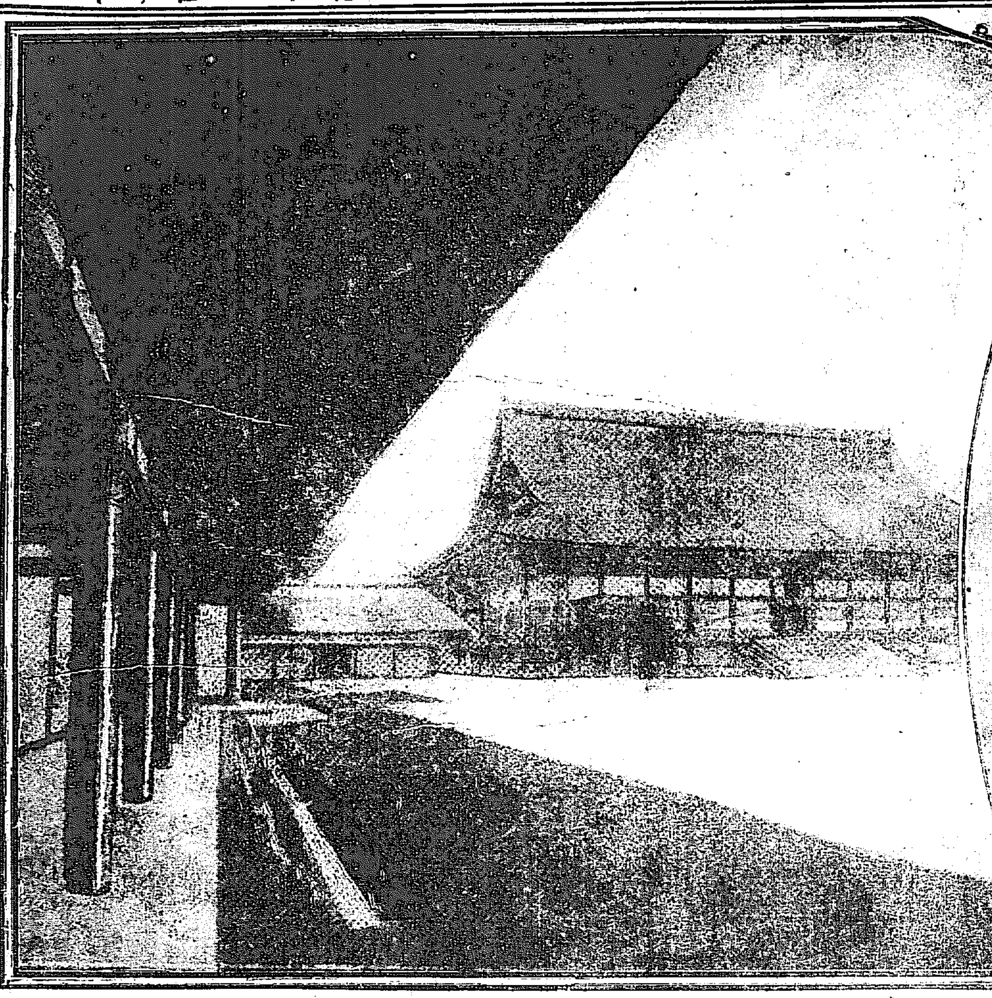
資本金　壹百萬圓
政府貸下金　三十二萬九千二百圓
農工債券發行高　百參拾萬圓
株式會社　漢湖農工銀行　京城南大門通二丁目
銀行長　白完爀
支配人　遠山熙
支店　開城、春川、江景、太田、公州、鐵原、淸州、忠州、論山
電話　五五五番　五二二番　五七四番
當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥　賣藥　卸問屋
醫療及試驗器械
總切叮嚀、迅速確實、に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前　山岸天佑堂　藥品部　器械部
電話　一二二　一〇七　六〇二　振替貯金口座京城二〇三

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百廿五萬圓
株式會社　第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

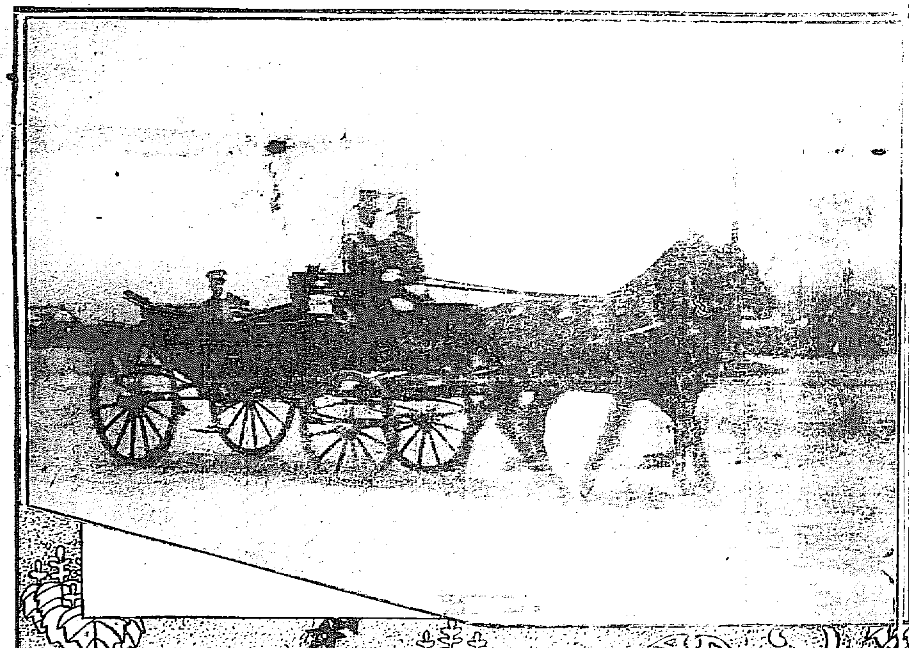
汽車
南行　北行

京城日報



聖上陛下即位式御束帯□□□紫宸殿及び大廻廊

伏見總裁宮殿下の御參內(右)□□□皇太子殿下二條城に向はせ給ふ(左)



大阪三品 …

大阪株式特 …

△相場 當限寄付 三圓三十九錢中限寄付十三圓四十九錢 先限寄付十三圓九十七錢

△本日の檢米 …

共進會記念として一大寶鑑を提供す

朝鮮産業指針

蟻生十郎監修　川端源太郎編纂

四六倍版 總クロース 金文字入 美装堅牢 五百ページ餘 定價金五圓

口繪　石版寫眞版數十枚挿入外に人口の分布、産業の狀勢、交通の狀勢等を示めせる地圖を添付す

◎本書發行の趣旨◎

始政五年記念朝鮮物産共進會が、中外の好感と賞讃を博し、豫期以上の成効を收め偉大なる教訓と印象を與へ、歡呼裡に閉會を宣したるは、吾人の欣抃措く能はざる所なりとす今や新附の同胞は、之れに由りて漸やく將さに勤儉の美風を作興せんとし、內地の移住者は之れに由りて朝鮮開發の益々有望にして多方面なると自覺し母國の資本家企業家を始め所有ゆる階級の人士は、之れに由りて其視聽を朝鮮に集中し**總督**新政の効果をして光暉あらしめたるは、吾人の最も祝福する處なり、之れと同時に吾人は或る何物をかを捕捉し、一層有意義のものと爲すの緊要なるを感ぜずんばあらず、是吾人が敢力自ら揣らず、本書を刊行する所以なりとす

然して、本書は朝鮮の主要産業たる農業を始め、林業、蠶業、殖民、水産、鑛業、工藝、金融經濟、開墾灌漑、土木、交通等共進會陳列の事物に對し、團體若しくは個人の提出に係る**出品成績書中、受賞の榮譽を荷**ひたるものは、內地人と鮮人とを問はず、一字一句を修飾增減するなく、悉く之を採錄し、勵めて其本旨を失はざらんことを期せり、左れば本書は、各出品者が自家經營の事業に對する僞はらざる實驗的叙述にして、他に比儔なき權威を有し最善を盡せる所謂**一部の産業發達史**といふべく、半面より觀察し來れば、方今産業界に活躍し、卓越の識見と、嘖々の信用を博し一世の尊敬を受けつゝある諸氏が、血と淚を以て彩れる堅忍不拔の奮闘史にして復た立憲偉たるを告白し得へし、若其れ本書の價値に就て語らん乎、數千萬金の巨資を抛ちたる、汎く十三道の出品者が互に其特色と精華を發揮し、幾苦多慘の結晶なるを以て、朝鮮の産業に關し、優秀の智識を求め、之れを實行せんと欲するものに取り寔に**絕好の資料、貴重の寶鑑**たるを疑はず、吾人か本書に題し「朝鮮産業指針」といふ實に此意義に外ならす

終りに臨んで、吾人は本書刊行の光榮を得たるを感謝し、吾人の企圖の必ずしも射利的にあらずして、二十年來半島の山河に親み、何等貢獻する所なきに慚み、聊か濟美の一獻を輸さんか爲め、敢て此擧ある所以を宣明す冀くは吾人の微衷を諒とせられんことを

本書の內容左の如し

目次要項（五百餘件網羅）

◎農業の方法及成績◎蠶業の方法及成績◎水利灌漑事業の方法及成績◎移民の募集配置保護監督の方法及び成績◎林業の經營及び成績◎朝鮮松林の成績◎水源涵養林の成績◎寺有林保殖合の狀況◎宜川殖林組合の狀況◎造林保護並に成績◎竹林經營の方法及び成績◎稚樹保育の成績◎鐵及び石炭鑛業◎石炭及び金鑛業◎金鑛業◎製鐵業◎捕鯨事業の經營及び方法◎八角網及び枝矢網漁法及び經營◎沃度製造方法及び成績◎木浦海藻水產組合成績◎灰貝養殖經營及び成績◎鰛養魚池經營方法及び成績◎巨濟漁業組合成績◎罐詰製造の方法及び成績◎玉珧貝罐詰製造の方法及び成績◎貝釦製造方法◎迎日灣漁業組合成績◎鼈養殖方法◎機張漁業組合事業成績◎皮革事業の經營成績◎莞草製造成績◎醸造業成績◎煙草製造成績◎綿絲再業の成績◎水上運送の成績◎大同江航運の沿革及び成績◎鴨綠江航路の沿革及成績◎水陸運送の計畫及び成績◎金融及び經濟◎市場經營及び成績◎朝鮮産業現勢一斑

尙近來の都合も有之購讀希望の方は至急申込相成度但し豫約金を要せず

大正四年十二月中旬發行

朝鮮産業指針發行所

京城水標町四二

開發社

電話一五四三番

●賢所御神樂儀
十時間に亘れる莊嚴なる御式

御即位式滯りなく終了せられたる翌十一日、朝來秋日和麗かにして御苑の紅葉一しほ色鮮か也、此の日午後三時三十分より春興殿賢所に於て御神樂の御儀あり、即ち和琴、篳篥、笛と笏拍子とを樂器に用ゐられ御神樂を奏して賢所の神靈を慰め奉る也

□春興殿に參集　朝來春興殿を裝飾し、文武高官、優遇者並に夫人朝集所に參集せり、此の日の服裝は總て賢所奉告の儀式と同じく、次で各宮殿下宣陽殿に參入せらる、と間もなく　天皇陛下同殿に渡御あり、御服を更められて御手水あり、御笏を手にせられて準備の整ふを待せ給ふ

□暮色漸く迫る　やがて朝集所に控ふる諸員は大禮使高等官の案內にて著床し、御神樂歌を奏する裡に、御扉を開き、神饌幣物を供へ、岩倉掌典長祝詞を奏し、訖りて　天皇陛下には戶田式部長官波多野宮內大臣の前行にて出御、御劍御璽を奉ずること供奉の次第等賢所大前の儀と同じく　陛下內陣の御座に著御遊ばさるゝや、侍從御劍御璽を案上に奉安し、やがて　陛下の御拜禮あり、內掌典御鈴を奉仕す、斯くする內暮靄漸く罩めて庭燎の光砂利に輝く頃より殿外正面の御神樂舍に於て御神樂を奏す

□神樂譜卅八曲　神樂譜三十八曲は勅封して大御祭の時のみ奏させ給ふものにて、室町伯爵は和琴を奏し雅樂部長芝葛鎭、樂師東儀俊慰の兩氏は笙篳篥を奉仕し、大原伯爵、持明院子爵は秘曲を奏せり、殿上の御燈は幽かにして夜は次第に闌け、斯くて十二日午前零時三十分に及び　陛下入御と共に幣物神饌を撤して御扉を閉ぢ諸員退出したり（京都特電）

●聖恩權域に遍し

御即位の大禮を擧げさせらるゝに方り　聖上陛下より御賑恤の資として內帑金百萬圓御下賜あらせられ其內朝鮮に頒賜さる可き金額は二十萬圓の巨額に達せること昨紙東電記載の通りなるが總督府に於ても同日宮內大臣より同樣の通達あり之れが使途に就きては朝鮮總督府訓令第五十八號記載の如く恩賜金は永遠に之れを保存し其收入を以て賑恤の費に充て長へに聖恩に奉答す可きは勿論なるが、總理大臣への御沙汰を拜察するにたの御賑恤金は養老賑恤の御主旨なる可く、朝鮮に於ては曩に數

御賑恤金二十萬圓の使途

回の御下賜金を以て孤兒の收容、盲啞者の救育、行路病、死人及び同伴者の救助等慈惠救濟の機關を設け何れも多大の効果を擧げ居れるも養老の賑恤に就きては未だ何等の機關なく當局に於ても之れが設置につきては種々研究中なりしことゝて申すも畏き極みなれど今回の御沙汰は誠に盲龜浮木の感あり即ち愼重審議の上適當の方法を講じて養老賑恤機關を設け以て聖恩に酬ひ奉る可きこと言を俟たずといふ

●聖恩罪囚に及ぶ
勅令の要旨と恩赦の次第
山口法務課長謹話

今回の恩赦は一般減刑の外特別の恩召を以て特赦を行はせらることゝなれり、勅令第二百五號を案ずるに一般減刑の恩典に浴し得可き者は大正四年十一月十日以前に於て禁錮以上の刑に處するてふ確定判決を受けたる者の中、刑の執行以前の者、刑の執行猶豫中の者、刑の執行中の者、刑の執行停止中の者及び假出獄中のものにして何れも一定の標準に依り其刑期を輕減せらる、從つて刑の執行を免れたる者は恩典に浴さゞること無論なるが此一般減刑を受け得る犯罪者は左に述べむとするものを除く外、有ゆる犯罪者に涉る可し

一、天皇及び皇族に對して危害を加へむとしたるもの
一、神宮又は皇陵に侵入したるもの
一、暴行强迫を以て猥褻の行爲をなし又は强姦を爲して其爲人を死に至らしめたる者
一、自己又は配偶者の直系尊族を殺害したる者
一、自己又は配偶者の直系尊族に負傷せしめたるもの
一、自己又は配偶者の直系尊族を遺棄し又は生存に必要なる保護を與へざりしもの及び之に依りて死又は傷を受けしめたるもの
一、自己又は配偶者の直系尊族を不當に逮捕又は監禁したるもの及び其れに依りて死或は傷を負はしめたるもの
一、强盜人を死に至らしめたる罪
一、强盜が强姦したる罪
一、軍用保護法第一條乃至第三條の罪
一、以上列擧の犯罪と其性質を同じくする所の朝鮮笞刑又は關東州に行はるゝ法令の罪及び皆法の罪

之等の犯罪中未遂の場合に於ては減刑を得るものと然らざるものとの別あるも這は省略す可し

如上の減刑を受けざる者と雖も　天皇及び皇族に對して危害を加へたるものを除くの外特別の事情ある者に對しては御裁可を經て減刑を行ひ得可く、又た一般減刑を受けたるものに在りても尚ほ特別の事情ある者に對しては御裁可を經て特赦を行ふことを得可し、

此特別減刑並に特赦の發布は明治天皇御登遐及び昭憲皇太后御崩御の際に於ても嘗て見ざりし恩典にして聖恩の優渥なる吾人の恐懼に堪へざる所なり而して一般減刑の程度如何といふに死刑は無期懲役、無期懲役若くは無期禁錮は二十年の有期懲役又は有期禁錮に減ぜられ有期懲役又は有期禁錮は其の執行以前の者に在りては全刑期の四分一を減じ刑の執行中のものに在りては殘刑期の二分一を減ぜらる、但し既に執行したる期間が刑期の二分一に達せざる時は全刑期の四分一を減ぜらるゝものとす

今回の恩赦は大要右に述べたる如くにして我朝鮮に於ては勅令發布の電報に接すると同時各地の裁判所檢事並に典獄に通牒したるを以て一般減刑者は既に恩赦に浴したること言を俟たず其恩典者數は報告を統一して發表す可く、又た特別減刑及び特赦に在りては目下司法部に於て愼重調査中なれば遠からず決定、發表の運を得可し

●大嘗祭御豫習

天皇陛下には十一日午前十時御出門大宮御所に行幸大嘗祭の御豫習を行はせられたり　陛下には小原典儀部主任其の他係員の說明を聞こし召され十二時半還幸相成りたり（京都特電）

●優渥なる御諚

天皇陛下には山縣公、松方侯が十日の御大儀に長時間佇立せるを痛々しく思召され式後兩名共老齡なれば大嘗祭には參列見合はせよとの難有き御諚を賜はり山縣公、松方侯は今更の如く聖恩の無窮に感激したりと（京都特電）

●間島奉祝式

十日午後三時總領事官邸に於て奉祝式を擧げ在留日本人官民其他支那官……

小頭溝監獄に於ては十一日午前九時鈴江典獄三井檢事立會の上聖旨を傳達し恩赦減刑の執行を爲せるが特赦の爲め出獄者十一名（中一名內地人）なり（平壤特電）

……に至れる滿鮮酒造の調査書類をも參考に供し更に清酒の外醬油等をも醸……萬端を協定する筈なり（大阪支局）

……しある如く期限後は證據金を沒收し……て無効となすべきも土地遠隔其他不……取に出頭すべき……となり

●村田理事間島視察　……

●暴風雨解警　……

支那帝政問題

▲終に勸告を容る
本年中は帝政を實行せず

九日支那政府は非公式に日英佛露四國公使に對し友誼的勸告を容れ本年中帝政を實行せざる旨通牒し來れり（北京特電）

▲帝政實行延期に就て
支那當局者談

某支那當局は今回の延期に對する日本政府及民間の態度如何を氣遣ひ東亞大局の上に双方讓歩的滿足を得ん事を希望し又延期方法としては既に新疆の選擧を不法として再選を命じたれば事實上適當時期まで延期し得べく其他の投票も更に參政院肅政廳にて檢査するの手續なれば本年中は到底實行を得ず明年に至り內外の形勢に顧み始めて斷行するの豫定なり四强國の勸告を受けし支那の目下の狀況としては是れ以上他に方法無しと（北京特電）

歐洲大戰亂

▲英佛の作戰一致を見る
キ將軍訪佛の結果

巴里來電に據れば、英國陸相キッチナー氏と佛國首相ブリアン、陸相ガリエー及佛軍總司令官ヂョッフル將軍と會見協議したる結果佛英兩國政府は近東戰情より展開し來る全問題に對し全然作戰上の一致を見るに至れりと（倫敦電報）

▲百發の砲彈を受けて
汽船の慘害＝三百名の死＝多くは婦人と小兒

倫敦來電に據れば汽船アンコナ號は百發の砲彈を受けて後水雷を發射せられ三百名の死者を生じたるが被害者の多くは婦人及び小兒なりと（紐育電報）

●總督の感謝狀

仁川協贊會にては五日附を以て寺內總督より左の感謝狀に接したりと

始政五年記念朝鮮物產共進會の事業を翼贊し其成功を幇助し盡力尠からず仍て茲に感謝の意を表す

●陸軍側の賜餐

來る十六日大饗の儀の當日軍司令部憲兵隊司令部師團司令部兵器廠衛戍病院及び倉庫に於る步騎砲兵各將校及び同相當官は同日午後第三十五聯隊の雨天體操場に於て賜餐を頒つ由

●獨人の大典記念

仁川世昌洋行主獨人ワルター氏は十日御大禮記念として仁川府に出頭し府內の貧民救助費中に一百圓を寄附したり

京城雜筆
山縣生

▲當都に於ける今上陛下御即位の大典は尋出たく了れりとの報は如何に我等の心を喜ばしめしよ我等は歡喜極まりて手の舞ひ足の踏む所を知らず、我等は先づ此聖代に生を保ちて此一大盛事に際會したるの幸福を思ふ、一にこれ聖德の賜なるを感せずんばあらず

▲今の時世界は到る處悲風吹き慘雨繁し、獨り我大日本帝國は猶ほ獨墺二國と交戰の狀態にあれど、早く敵を極東より掃蕩し去りて、平和を回復し、國威を宣揚すると共に國力民富共に大に加はる、我國民の幸福眞に無比といふべし

▲我等此無比の幸福に浴し得る所以のもの、一に上に仁慈限りなき皇室を戴き、英武聖明の天子の治を受くるが故なり、我等は何を以て此海壑の恩に報ゐ奉るべきや、陛下登極に當り『朕夙夜兢々天職を全くせむことを期す、爾臣民の忠誠其分を守り、勵精其業に從ひ以て、皇運を扶翼することを知る、熙々其心を同くし、力を協せ倍々國光を顯揚せんことを』と勅らせ給ふ我等が報恩の途は一に此高大なる御敎訓を遵守し、聖旨に答へ奉るに在り

▲此勅語は我等臣民が深く感銘して一刻も忘るべからざる金科玉條なり陛下は畏くも夙夜兢々天職を全くせんことを期し給ふ、我等は大御心を以て心となし、早朝より暮夜に至る迄一刻の油斷なく忠誠勵精我等の職分を盡さゞるべからず

▲朝鮮に在る我等は殊に我等の職分の重大なるを思はずんばあらず何となれば我等は或意味に於て我帝國の國光を顯揚するの先鋒隊なれば也、我等若し薄志弱行にして能くせずば我帝國の大陸發展は一大頓挫を受くべし、我等は內地に於ける同胞よりも一層奮發する所なかるべからず

▲新に陛下の赤子となれる朝鮮の我同胞は既に我大帝國の臣民となりたるの如何に幸福なるかを知盡したるならんも今回の大典に際し我皇室の光榮の絕大なるを飽く迄も覺知したるならん、十日の午後景福宮に於ける祝賀式に鮮人の參會する者數千に上りしは此間の消息を語るもの、思ふに我朝鮮の同胞は聖恩に報ゐんと欲するの情に於て我等と毫も異なる所なからん、我等は　陛下の勅らせ給ひし如く『心を同くし力を協せ』て相扶け相勵まし、國光を顯揚するに最上の努力を示さん

奉祝文藝

『俳句』　佳作

瑞鳳の大虛渡るを仰ぐ哉　京城　小山壺之助
菊に高く光りある日を仰ぎ鳧　京城　長谷川天聲
小春空澄む天津日や二なき國　大田　河越風骨
豐の秋娘は嫁して祝ふ今日　京城　岡本關之道
旭に向いて聲淸らかや霜の鶴　龍山　西岡米醉
即位日や菊咲く庭のさゝの莚　京城　武田鶯外
射し雁を遙拜殿に捧くめり　大邱　中田邸岸
茜さすねのころ島や菊の秋　平壤　大島藍川
柴の戶の寒菊に天津日の光り　大邱　古藤音麿
菊好きの菊の世話今年尙の事　仁川　小谷舟葉

□選後に　神崎楚桂

大空に輝る太陽大野に伏せる草類ひなき日に相會へるかも
大瀛に盈ち滿てる潮いづこより湧き來らんかとよろこび壽ぐ
我等もし隣邦の民と生れ在れば享けし血は此悅び許さじ

松尾目池

秋晴るゝ日の濱砂に額きぬ
倭種の此處にも地する乘穗哉
獻蔘に菊かざす翁尊うとかり
唐辛子草屋根に闇く眞ツ日浴びて
三寒四溫覺ゆる頃の菊盛り

奉祝御大典　仁川新町　大淸菓子舖　店主　大沼淸太郎　電話一九八番

代書業　仁川仲町　增田定吉　電話六〇五番

奉祝御大典　專賣特許　㊦はまれ麥本舖　仁川本町二丁目　富山源三郎　電話二三番

奉祝御大典　諸鑄物製造業　仁川濱町　㊥中川鑄工所　電話三七番

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も精確迅速と可應親切を旨とし御需に可應候　京城日報社　寫眞製版部

金牌受領創業一週年記念景品附大賣出

賣出し　蒲團綿
優印一貫目に付金二圓二錢　等印一貫目に付金一圓八十七錢
い印同　金一圓七十二錢　ろ印同　金一圓六十錢
は印同　金一圓四十八錢　に印同　金一圓三十五錢
ほ印同　金一圓二十四錢
△賣出期間　大正四年自十一月廿四日至十二月廿三日
△抽籤期日　大正四年十二月二十四日
△景品引換期間　大正四年自十二月二十四日至一月二十日
○御買上壹貫目毎に景品券一枚進呈

景品種目
壹等　朱珍丸帶壹本宛貳本
貳等　御召反物壹反宛參本
參等　羽二重羽織地壹本宛八本
四等　紫メリンス帶地壹本宛十五本
五等　洋傘壹本宛參拾本
六等　タオル一打宛百打
七等　つちや足袋二足宛二百足
以下壹本も空籤なし

特約店
橋詰呉服店　京城本町三丁目　電話八〇番
丸一呉服店　京城本町二丁目　電話三五番
まねき商店　京城新町　電話七〇番
末永呉服店　京城本町一丁目　電話二八番
高木商店　京城本町二丁目　電話三四番
㊂呉服店　京城本町一丁目　電話二五七番
三中井呉服店　京城本町二丁目　電話三七番
山口呉服店　京城本町三丁目　電話九番
丸一綿部　京城黃金町三丁目　電話三一二番
關商店　京城本町二丁目　電話四六番
富井呉服店　龍山元町二丁目　電話一〇八番
藤田綿店　龍山漢江通　電話三〇九番

謹啓弊社創立以來各位の深甚なる御愛顧を蒙り社運月と共に隆盛の運に進み愈々本月を以て滿一ヶ年と相成候爾來弊社の努力は決して空しからず今回總督府始政五年記念朝鮮物產共進會に於て光輝ある金牌を受領するの榮華を負ひ候は如何に製品の優良にして價格の低廉なるかを立證するものに有之候就ては我社創業一週年記念を兼ね金牌拜受の祝意を表する爲め此機會に於て破格の低價にて景品附大賣出し致候間奮て特約店に御用命の程奉懇願候　京城荷華町二丁目
朝鮮製綿株式會社　電話一六五番

金丸の鐵砲でこの通り!!!
新荷着（獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備）
横濱市本町　合資會社　金丸銃砲店　電話一五五番及六五三番　振替口座東京四七一番
（獵銃定價表郵呈）

建築用材平板、浪板、波形トタン、各種ストーブ、附屬煙筒、雨樋、兩掃除器、取附工事請負、並に水道用品販賣
京城黃金町二丁目（電話二五四五番）　鉱力商　田中吉太郎
御用の節は御一報次第迅速に取計可申候

◎朧タオル　は高尙優美且つ廉價內地各都市に於て大好評
◎おぼろ染　專賣特許　朧染印入タオル
◎大至急　年末御進物用として最好適に候へば註文一時に多數有之候に付可成早く御用命願上候
朧タオル一手販賣　京城本町二丁目　松坂屋商店

●囚徒恩赦減刑 平壌監獄に於ける

[illegible]刑五百九十八、二分の一減刑二百九十九名、減刑せられざる者八十四名[illegible]

[illegible]年他の有志が當地に計畫せし儘今日[illegible]不日具體的目論見書を立案したる上[illegible]進會事務所にては[illegible]約定證に明記[illegible]となるべきを以て契約者は至急受[illegible]

[illegible]地方に赴き諸方面に於ける[illegible]を視察する筈なるが歸任期は未定也

●任 京城 大阪人會 [illegible]士は勿論大阪に縁故を有せらるゝ人士の入會を[illegible]大阪人及び大阪[illegible]

●榮ある高齢者

申すも畏き極みなる御即位式の當日養老の恩召で天杯並びに御酒肴料を賜つた名譽ある高齢者の居常の模樣を知るべく訪ねて見ました

▲靜止してるのが厭 九十歳の姜達馨翁

雲峴洞の李埈公邸から敦丁先の鮮人部落の嘉會洞四十番地に正三品姜達馨（九〇）氏を訪ると三疊敷許りの温突に孫らしい四つ五つの子供と遊でゐた達馨翁は疎だが長い髭をしごきながら老眼鏡を拭き〳〵小さい口をもく〳〵させながらぽつり〳〵語り出る、私共が此光榮ある恩典に浴した事は唯感謝の外は御座りませぬ、私は若い時から官に就て居つて各地を旅行し支那の方まで參り洽ねく名所舊蹟を尋ねたりして愉快に暮して來た事も今日丈夫で居られる原因ですが私は酒も煙草も一切喫まずその上妾なども全く近づけず滋養物としては人參などを用ひて精力を消耗せぬ樣にして來た結果であらうと思つて居ります、唯今でも眼も耳も何とも無いので少しの間でもぢつとしてゐるのが嫌ひな私は書物を調べたり字を書いたりして暮して居ります

▲眼鏡無しで針糸を通す 八十九歳の長嶺老

旭町一丁目三五長嶺貞助氏老父新二郎（八九）翁を訪へば實頭顱の樣にてか〳〵光る頭を撫でながら歯も此通り八本も殘つて居りますとはつきりした口調で語り出す傍からお嫁さんが嬉しくて堪らぬと言つた樣な色を浮かべて口を入れる『國は山口、若い時から百姓で鍛へ上げた上に此の年になるまで人樣に對して憎まれ口一つ叩いた事もなければ人から兎や角言はれはしないだらうかと言ふ樣な心配なども一度もした事もない暢氣な氣性ですから恁んな長生が出來たのです若い時分人が二十貫の物を持てば自分は三十貫の物を持つと言ふ樣な調子で我慢して働いたので七十八歳の時から右の足を惡くして身體の自由が利かなくなつたもの、眼も耳も今に達者で針の穴を眼鏡無しで通す位です、食事も若い者と同じ樣にし升し牛肉などを平氣で喰べるなど不思議な位です、丈夫な事は此の歳になるまで藥一服服んだ事はありませぬ、朝鮮には今年の二月來たのですが幸ひに病氣は致しませぬ、此の度は有難い御沙汰をいただいた上に新聞に寫眞まで出して下さるさうですが嬉しくて〳〵此の上は何時死んでも心殘りは無いと思つて居ります

▲御大典を拜觀に京都へ 飯泉鮮銀文書課長母堂

旭町二丁目六六朝鮮銀行文書課長飯泉幹太氏の母堂なわ子刀自（八十）を訪ると夫人はお産でお臥み中御主人は銀行の方とあつて飯泉氏の令兄なる方から『母は目下御大典を拜觀したいと申して大阪に姪が居りますのでその方に行つて居ります、平素から非常に壯健で御坐いまして朝鮮に參りましてから十五六年にもなりますが別段大して患らつた事もありませぬ、それに當地に居ります時は弟の家内の子供が八人からありますがその衣類の仕立などは一人でやつて居る位なので御坐います、十日に道廳に出頭して天杯を拜受しますと同時に母の方には電報で知らせて置きましたが嘸喜んだ事だらうと思つて居ります

●皇化洽し 囚徒聖恩の鴻大に感泣す

這回の御大典に際し辱くも恩赦令發布され全國一般に亙りて囚徒恩赦減刑の難有き御沙汰ありたることは既報の如くなるが囹圄の身に泣く幾多の囚徒は此の難有き御沙汰を如何なる感や湧きつらん記者は十一日京城監獄及び西大門監獄の兩署を訪へ親しく恩赦減刑の恩澤に浴したる囚徒の狀況を聽く

▲京城監獄

田舍道の單線電車に依りて麻浦に至ると初冬のうら枯れたる緒草は黄色き木立の落葉と共に肅々たる風に煽られ水も涸れ〳〵の小川に沿ふて行く程に嚴めしき高塀を左手に見て獄門を潜り少時待つ間もなく一室に導かれて三井典獄に面談す語つて曰く京城監獄にては十日午前十時に囚徒全部を一堂に集め典獄より這回のありがたき御大典の發布を告示し午後三時三十分には一同東南の方向に正座せしめ熱誠罩めたる禮拜を行はしめ尋いで教誨師は典獄の訓示したる意義を敷衍して皇恩の鴻大に對しての報行として修善にありとの趣旨を懇々說教し了つて一同を各監房に引取らしめたり囚徒は只管聖恩の難有さに感佩しつゝ出入共極めて靜肅なり同日午後三時四十分頃本府より恩赦減刑令の發布に關する通牒に接し直ちに受恩典者のみ又復一堂に集め典獄より優渥なる聖旨の御沙汰を訓示し恩赦は啻に一時に止まらず將來に於ても充分戒飭し善道に立ち還るべき旨懇誠諭す所ありたり京城監獄は朝鮮人成年男囚のみの收監にて目下一千五百七十六名を收容し居れり此の中這回の恩典に浴したるもの一千四百六十六人

恩典に浴せざりしものは纔かに百十人に過ぎず此恩典を受くるもの全數の九十三に達す最も此度の減刑令の恩典に浴すとの出來ざる右の百十名の犯罪者は叛逆罪強姦致死直屬尊系者を殺傷監禁したる者強窃盗殺人軍機漏洩等の罪を犯したる者の何れにか該當するものなるが元來京城監獄は一種收治監の如き模樣にて要するに朝鮮全道より集まり來る長期囚の元締の如き觀あり犯罪者の内最も多數なるは强盗犯で全數の中實に一千三百八十六人は夫なり尚刑期より見れば十年以上の者六百七名を示し居れり恩赦の減刑令に浴し得るものは上記の犯罪者を除きたる外死刑の判決となり居る者にて未執行者は無期懲役に無期懲役及び無期禁錮は有期二十箇年に其れ以下の刑期中服役に就かざるものは刑期の四分の一を減じ執行中の者は殘期の二分の一を減ず減刑令に依つて早速恩典に浴し十一日監獄より出獄したるものは强盗罪に依つて三年八箇月二十九日を無事服役したる張學化といふ者一人なり次いで十五日に强盗犯人なる趙某も出獄することゝなり本年中に都合十八名出獄することゝなり居れり是等出獄の恩典に浴したるものは殆ど强盗犯多數を占め其他放火傷人等あり因みに同監獄の囚人の衛生狀態は頗る健康にて是等多數の囚徒中本年十一月十日迄に病死したるもの僅かに五十一人目下入院加療中の者二十五人なりといふ次に京城監獄の分監たる

▲永登浦分監 を訪ふ

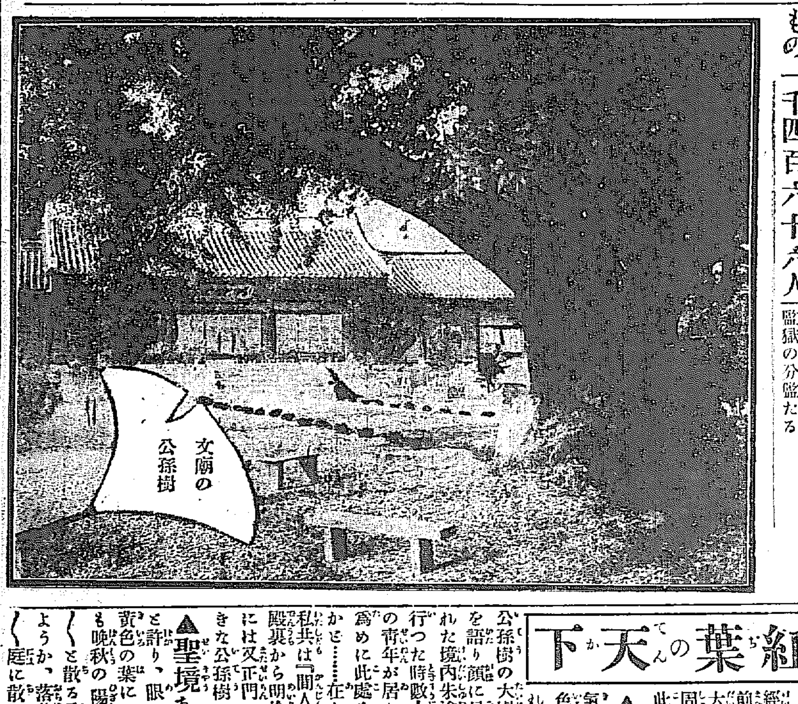
同分監は主として内地人及び西洋人を收監す目下西洋人は一名もなく内地人女囚幼兒共全部四百十一人を收容しをれり此内這回の恩典に浴せしものは三百三十一人而して此の中には一時噂高かりし元新義州民團長たりし市川某元警察署長松田某元漢湖農銀開城支店長小鹿島某等含まれ居り斯の如く減刑されたるを以て彼等が天恩の無窮に感泣する素よりさもあるべきことなり斯くて歩を轉じ

▲西大門監獄 を訪問

すれば柿原典獄快よく引見す同監獄には目下已決男囚一千五百四十五同女囚九十九外に未決男二百一同女二十を收容し之を本監及び大平洞出張所鍾路拘置監等に分收し居り而して同監獄は朝鮮人と支那人とのみにて未決囚及び女囚幼年囚等をも收容し別に春川と仁川との二分監も管轄に屬しをれり此内今回の恩典を蒙り減刑さるゝもの一千四百十一人浴せざるもの二百二十名死刑にて無期となりしもの二全員中刑期の四分の一を減じたる者八百七十四人殘刑期の二分の一を減じたる者五百三十二人なりといふ恩赦に浴し能はざるも犯罪の性質上恩赦に浴し能はざるもの二十八名及び大正元年並に同三年の恩赦令に浴しながら再度入監したるもの百八十六名あり是等は當然恩赦を受くる能はざることゝなれり這回の恩典に浴したるもの、内最も多きは窃盗犯人なり次に恩典に浴し得ざるものとしては强盗殺人八强盗强姦四尊屬系殺人十六合計二十八人あり又一回恩赦に浴しながら再度入監の爲め減刑を蒙らざるものとしては窃盗百十强盗三十二强盗傷人二十詐欺十七等主なるものなり斯くの如き結果となれる所同監獄にては豫て本府よりの内命に依り先月三十日より第一課長主任となり毎日看守部長以下十二三名にて殆んど徹夜を以て全員に亙り調査に着手し九日迄に一切の調査を終結し全刑期と恩典に依りての變更並に出獄日に關する各囚の告知書を調製しゐたる所十日午後三時を以て本府より恩赦令發布の趣公式の通牒に接するや直ちに減刑該當者は成年囚女囚幼年囚の別々に召集し聖旨の有難きを傳へたるに何れも感佩し中には感極まりて涕泣する者もありたり

●須磨子一座京城に來る

龍山佐久良座に於て開演大成功を收めたる藝術座の須磨子一行は十二日より五日間京城座に出演初日は『剃刀』『復活』を十三日よりは『嘲笑』『飯』『サロメ』を上場すべし開演時間は午後六時よりなりと



紅葉の天下

□黄金色なす文廟の公孫樹□

經學院の公孫樹は頃日が一番の觀物である、道は昌德宮動物園前から電車を降りて、總督府醫院と植物園との樹立に挾まれた大道を行けば纔か許りで文廟に著く、文廟は毎年春秋の釋奠に周禮の儀式そのまゝの古典的な祭典を擧ぐる所であるが、今しも此の聖境の夕日に騰る

▲千年の公孫樹 に對しては今更實に言ひ知れぬ古雅な氣分に打たれざるを得ない、其の古色蒼然たる瓦の色と丹碧の色美しき建物の色とは共に李朝五百年の歲月を閲して居るが其れよりも猶ほ境内に茂る亭々たる縱樹と老槐と老松と庭を蔽ふ公孫樹の大樹とが一層よく古き昔しを語り顔に見える、高い石塀に圍まれた境内朱塗の正門の下には私共が行つた時數人の落葉かきと白衣黒冠の青年が居た青年は科擧を受くる爲めに此處を訪れたのではあるまいかと……在りし昔を想像して見た、私共は『聞人勿入』の門を潜つて大成殿裏から明倫堂の正面に出たが其處には又正門と同じやうに驚く可き大きな公孫樹がある、而も此の

▲聖境を悉黄色に 染めんと許り、眼に餘る二株の老木は滿樹黄色の葉にて庭を蔽うて居る、折しも晩秋の陽に輝きて風なきにハラ〳〵と散る公孫樹の落葉は何に喩へようか、落葉かきの鮮人が掃けども〳〵庭に散り敷く落葉の風情は實に春の花にも優りて見える『春ならば蓮翹の山か』と方さんが言ふ『昔から公孫樹の詩に乏しいのは何うしたものか』と、無佛先生が云ふ、實に珍らしく大きく美しい公孫樹である私共が厭かず此の木を眺めて居ると曾て菊培り翁として總督の御褒めに與りたる風流人の村司成が現れて、『此の四株の老樹は』

▲今から四百年前 成宗大王の時尹偉なる大司成が植うると共其後各地の文廟とも此處に倣ひて此の樹を植うるやうになつた……。と物語る、私共は境内を一巡して歸つたが此の附近の秋色は實に珍らしい美觀である、公孫樹は昨今一霜毎に散つて行く、早く今の間に御覽なさい

往復共電車が無賃で煙草の御土産進呈

藝術座劇 松井須磨子 出演大優待

今十二日 明十三日 二日間 於龍山佐久良座（每夜午後六時開演）

■左記の賣店にて入場券御買求の方には……

■特等、一等、二等の各位に御土産進呈致します……

進呈する土産

■特等 しらぎ 三包
■一等 しらぎ 二包
■二等 カブト 三包

往復電車が無賃で

煙草の景品が澤山付いて

日本一の新らしい御芝居が見られます

松井須磨子孃

入場券販賣所

舊龍山元町	石川煙草店
同　町	松屋商店
京城本町二丁目	藤田商店
同　本町一丁目	寶屋商店
同　櫻井町	三山園茶舖
同　本町四丁目（停留所角）	岡本商店
同　南大門通（カフエータイガー隣）	廣江商會總販賣部
同　明治町四ツ角	安武商店
同　黄金町	天野商店
同　本町二丁目	小林民二郎商店
同　太平通二丁目角	廣江商會

京城 廣江商會

發行所 京城大平通一丁目 京城日報社

千生瓢 (38)

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計（六）

忠左衛門は心に天地を拝して忙んだが、表面には素知らぬ顔をして、

『血判とやら、何うしますのぢや』

『其方の指を裂いて、其血を名前の下に捺すのぢや』

『ひえッ、指を切つたら、明日から稼ぎが出來ませぬがな』

『いや切るのではない、小刀の尖で突くまでぢや』

『左様なら造作もおざりませぬ。其ではこゝへ捺しまするか』と、出刃庖刀で指を裂いて、其血を示された箇所に捺した。

忠左衛門は尾上に渡航して、北近江の地は踏んだもの丶、此處から賤ケ嶽までは、一里有餘を隔てゝゐて、更に敵陣の配置を知り得べき便は得られなかつた。再應の渡航を果しただけで、もう七日の日限が近づいた。僅に知り得た處は、丹羽細川兩軍の兵力と、秀吉が頻りに砦の經營を急ぐといふ事とであつた。忠左衛門の氣は苛々してゐたが、表面は悄然として、長閑氣さうに澄してゐた。

第三度目に尾上へ渡つた時、却つて其舟のまゝ長濱へ廻漕せよと命ぜられた。宰領等は皆迷惑がつて、誰で進んで之に當らうといふ者がないので、忠左衛門は雀躍して欣んだ。而して人に押付けられて、澁々之に應ずるのであつた。

長濱は秀吉の本陣だけに、定めて嚴重であらうと思つてゐたが、來て見ると、其寛大なのに驚かされた。忠左衛門は宰領をして、城中に納屋まで通らされた。

此處には澤山越前の者がゐて、隣國といふので越前の消息を尋ねられた。忠左衛門は好い加減に滿足するやうな返答をして、徐ろに城中の模樣を尋ねた。城兵案外多くの新消息を送つてくれた。其内で忠左衛門の耳新しく感じたのは、柴田勝家の十九日を以て中尾山に牙旗を翻へした事であつたが、同時にまた驚かされたのは、機敏な秀吉は勝家出馬と聞くと、親しく前哨に出て、中尾山の陣形を見望し、『勝家足長々と中尾山に出た上は、我また手立を運らして、彼山より一歩なりとも踏み出させまい』と言つて、東野山の高蒲谷に要害を築き、堀久太郎秀政の勢に弓鐵砲百餘人を加へて、嚴重に守らせるとの事であつた。

忠左衛門は今夜假病を構へて一泊し、種々の手蔓を傳うて、敵陣の模樣を搜つたが、長濱にまで聞えた陣立では、略聞き知ることが能きた。即ち賤ケ嶽の要害には、桑山修理亮以明、羽田長門守義質、淺野彌兵衛長政をして置かれ、余吾湖の南大岩山の新砦には、中川瀬兵衛清秀を籠められ、岩崎山の新砦は、大事の處といふので、堀の土まだ乾かねども、高山右近大夫長房を籠められた。又田上山の付城には、羽柴美濃守秀長を籠め置かれ、城の芝生には旗本衆を少々添へられた。天神山の城は、木下勘解由左衛門尉を添へて守らせらるゝ事、其他には陣々の入れ替りなき事等であつた。

長濱附の三家老の所在は知れたが、肝腎の山路正國の配置は知れない。いかにもして之を聞き出さうとする時に、却つて意外の事を耳にした。

夫は外ではない。今猿が馬場に本陣を据ゑて、城塞の普請を監督してゐる秀吉が、急に長濱へ引き揚げるといふ事であつた。

忠左衛門が宰領して回漕した魚類も、實は之が爲に要るのであつた。何故また急に長濱へ歸るかといふ事は、忠左衛門の最も聞んと欲する所である。

『あれはまた美濃からの早馬ぢやよ』

『勝入、一徹の兩入道、何とせられたぞ』と呟く者があつた。

忠左衛門の胸は跳つた。直にも歸つて、東野の砦の全く成らぬうちに勝家の出馬を促し、一合戰挑うかと思つたが、やがて其胸を撫つて、注意して細作するうち、圖らずも、山路が老母、妻子の城中に居る事を聞き出した。

諸病に奇効を奏する　奇石治療　去四日の夕刊記事を見よ　治療所　永樂町本願寺前　酒井

稀世の辣腕家　故青木堂君觀

殖民地の實業界中稀に見る人材に乏しき折柄、久保田君の様な稀世の辣腕家を失なつたのは實に殘念な次第です

▲君の奮闘振　に偏大を立たしめ不熟練にヒー々々泣き居る連中に血精注射をなすの概があつた、君は明治四十年に所謂裸一貫で來て今の府廳の向ふ角に少やかな店舗を開き、當時日の出の勢なりし錚々たる龜屋、辻屋、明治屋其他支那人の大商店や西洋人の同業者間に介在し年ら夫婦共稼にて鼓奮勵行奮闘努力し遂に四十四年には直ぐ其前に三階建の立派な店舗を新築し西洋料理部も開設すると云ふ大發展、さうしてコツクもボーイも支那人と云ふ風變りに京城人士をアツト云はせ押すな々々の大繁昌で有つた、然に

▲好事魔多く　昨年市區改正と云ふ嵐は花咲き實を結ばんとする青木堂に大打撃を與へた立退き命ぜられた久保田君も元來奇縱横の才士では有たが聊か閉口した。當時氣早の連中は青木堂慘敗を覩へ始めた位であつた。處がソンな事で腰折れするほど久保田君は弱虫ではない。先づ本町三丁目にカフエーエビスを設け西洋料理部を其方に廻し後ちパコダ公園内にもカフエーパコダを始めて之れが聯絡とし着々其計畫の歩を進めた。京城人士は非常な興味を以て此名物男の將來を卜筮した。併し如何なる難局に臨しても之れを突破するの膽略と才能を有する青木堂君は果然ヤツタヤツタ京城唯一の目拔の場所に壯麗極まる現代式の三層樓の大建築をなし付屬全部に點滅するイルミネーシヨンをつけ屋上遊園迄設け三階の西洋料理部は横濱のグランドホテルより永瀬某を招聘しサア來いと許りに捲土重來奮闘し始めた

▲君の活手腕　は方に轍鮒鐵輪の途を立派に踏じたので有る是には誰でも舌を捲いて感服した併し私は故人が創業と守成の兩性を備へて居つた事を御紹介したい、第一には君の歿後帳簿を見た人が有たさうだが實に完全に整理されて居つたと云ふ事及び最後迄萬事質素にせよ々々と云うた事も一つには『[illegible]もよいが決してお客様に御不便を與へてはならぬ』と遺族を戒められた事です是等は久保田君の平生が偲ばれて感心せずには居れぬ、又聞く所では一切受ける可らずと遺族に命じたスルト某君は『遺言によりてと申して[illegible]が強いてと云はれた場合には……？』と反問されたら

『其時には俺が棺桶の中から飛び出して斷る』と怒鳴つたさうです、『棺桶の中から飛び出る』[illegible]魂の青木堂式が躍如として實に痛快ではないか。更に如何なる時代に如何なる天地へ放り出しても裸一貫から成功する男でした、嗚呼此名物男逝きて一層秋色の老ひたるを感ぜざるを得ず、併し私共は此偉物の遺業たる青木堂及びカフエーパコダ、カフエーエビスを益々してやり故人の英靈を聊か慰めてやりたいものです（京城少壯實業家談）

京日案内

◎普通　一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

◎類少き營業中の工場主人讓渡　資本不要者但千圓以上要す　電二二七一二　太平室　916

◎御大典記念歴史寫眞外交希望者募集　携帶來談（郵便所裏通）歴史寫眞會　本町五丁目　京城支社　911

◎不用品買入　古著古道具高く買ひます　古材木板安く賣ます　○太平通二丁目八九　原田古物店　913

◎讀店市内目拔の場所今回讓渡に付至急讓る希望者は左記へ　本町一丁目○　[illegible]堂　913

◎御旅館　◎御下宿　一泊金五十錢より　一箇月金九圓より　京城本町三　電二四九三番　大和館　905

◎貸家　日本建溫突付三室至極閑靜　官吏向　漢陽公園南裏　管理者　舊龍山印刷局先　畑中　827

◎女中入口　官舍、商家、旅館　京城明治町　萬年社　電話一八四四　893

◎番外　一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

◎外交員募集　希望者は至急來談あれ　若草町八八　電二四三一　小谷印刷所　915

◎分店主任候補者募集　年齢卅歳前後但し保證金を要す　詳細は木浦支部へ照會あれ　木浦府　シンガーミシン會社支部　914

家傳　りん病三日藥　婦人消渇にも特効　到る所に代理店あり　本町三丁目　東京救濟院京城出張所　869

眞正なる　元山牛肉　特色精肉の親玉　開店披露の爲當分大安賣出仕候　京城本町二丁目五十二番地　壽湯前　元山八浪精肉店出張所　870

內科　外科　產婦人科　花柳病　上野醫院　○京城黄金町四丁目一〇番地　電話二九三四番　881

◎花柳病全治請合藥　りん病ばい毒にて御困りの方は一度御來店あれ　京城黄金町三　專門藥房　ドラック支店　891

恩給年金類立替　京城永樂町一丁目四十四番地　商品陳列館前　電話八〇三番　江州屋　858

◎恩給　年金類立替　京城本町二丁目五十三番地　京城銀行横入　吉田屋　830

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　859

◎質舗讓受　明治町二丁目木原質店を讓受け以後御用の方は○本町三丁目七番地　八木質店　861

◎當店代替りの風評有之候へ共事實無根にて不相變從前通り親切丁寧に御取扱可申候（支那領事館前）明治町二丁目八　電話一〇九六番　◎南質店　873

◎質屋　支那領事館通りも從前同樣御引立願上候　黄金町二丁長橋通入　電話二九一六番　田村質店　902

◎被雇　土木建築測量設計監督請負業に經驗あり希望者來談又は御照會あれ　釜山停車場前　岡本旅館方　橋本直入　904

患者用寢臺車　一名一擔架車　入院なさいます際は之に限ります　南山町三丁目　電話二九三三　堀運送社　845

奉祝御大典　仁川水道事務所　松田耕作　永井良作　佐治爲敬　兼行藤市　田中貞　楠見戸次　早川喜巍　濱守清作

奉祝御大典　仁川質商組合一同

奉祝御大典　朝鮮仁川　中華商務總會

奉祝御大典　仁川各宗寺院聯合會

奉祝御大典　仁川大神宮神職　上原堅一

謹祝御大典　仁川教育倶樂部員一同

奉祝御大典　仁川遞信局海事出張所　伊東清七郎　原幸雄　山口乙吉　戸井田一郎　秀島周次　赤星章　三浦良輔

奉祝御大典　堀力太郎

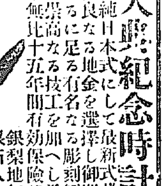
奉祝御大典　久水三郎

奉祝御大典　櫻井小一

奉祝御大典　松元鶴熊

御大典紀念時計　特製實用

本品は純日本式にして最新式御即位の形を模し品質優良なる地金を選擇し彫刻師の手を加へ記念するに足る有名なる技工に依り機械堅牢無比十五年間有効保險證附品



御即位紀念　價七圓九十錢　○純ニツケル16形17形アンクル　銀側16石入アンクル無双　銀梨地17石入アンクル特價　八圓七十錢　○當商會が御大典奉祝記念として三千個限り御發賣す御注文の方は本月廿日迄に御申込の事　代金は引替　小包送料は別　○御希望の方は御一報次第御送附す

合資會社　鈴木時計店　横濱市馬車道住吉町四丁目　電話二五九二

三田土ゴム製造合名會社製造　發賣元　大阪康勢町四　飯田商店

急告

◎淋病專門藥唯一錠　急性慢性淋病及び膀胱炎しよかち等の淋毒より來る病症は病菌を治滅すると共に安全に體内より洗滌すべき靈藥により其目的を達す現今幾多の淋病藥は其他の副作用を惹起す此兩特効を併有する淋病專門藥唯一錠　百藥効なき方は速に此良藥によりて不安を去られよ　四十五錠入八十錢　九十錠入一圓五十錢　百八十錠入三圓　◎全國有名藥店にて販賣せり　淋病養生法　無代進呈　送料四錢　發賣元　東京市牛込區神樂坂上　中西藥局　振替東京一五〇〇番

醇良清酒　大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎

特約販賣店　京城本町二丁目　佐藤牧太郎　同　本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

御大典の祝賀宴會の時　御用意あれ　仁丹

金言　徳を行ふべき餘地は常に存す（セネカ）

新刊書御案内

書名	著者	定價
鑛產工業分析法	船越勝三	二五〇
實用數學	寶崎忠保	七五
漢和文海字典	水島愼次郎	一二〇
類和漢名詩鈔	結城蓄堂	一五〇
初等作詩法	末川竹磯	一〇〇
儀式書翰文範	大町桂月	一五〇
季寄新辭典	服部耕石	三五
立命安心逆順論	中野天心	九五
新愛國論	鈴木正吾	八五
苦樂新眞の生活	池田桃外	六五
墜落の日迄	星野水三	六〇
ファウスト物語	新渡戸稻造	一〇〇
新南島大觀	南洋研究會	一〇〇
忠直郷	牛井桃水	九五
東洋思潮講話	手塚榮山	一〇〇
藝術家と藝術運動	林田龜之助	一二〇
古美術行脚	黒田鵬心	一〇〇
舊き明文より新らしき明文へ	中井臨川	八五
ゼエレン、キエルケゴオル	和辻哲郎	二五〇
改造の試み	田中王堂	一二〇
本然生活	加藤一夫	一二〇
修養訓	大町桂月	一〇〇
青淵修養百話	澁澤榮一	三〇〇

京城本町　電話二〇八　振替京城二五七二　大阪屋號書店

本家　大阪市西區新町通二丁目　田知本和三郎謹製　發賣各藥店に販賣す　振替大阪二八一八番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行　三河丸　十一月　日　午前六時出帆

○大連、太沽行　高砂丸　十一月廿三日　正午出帆

相模丸　十一月三十日　正午出帆

仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　京城南大門前　電話長一九五二番、三二三番　支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會あれ　京城荷客取次店　松原運送店（電話長一二〇）

全羅丸　十一月廿四日　京畿丸　十一月十日　黄海丸　十一月十八日　成鏡丸　十一月　日　釜山發

穩城丸　十一月　日　昌平丸　十一月十三日　鏡城丸　十一月十五日　元山發（元山より各港經由雄基行）

能登丸　十一月十日　元山發　忠清丸　十一月十七日　元山發（雄基、清津、浦項行復航釜山經由門司）

永興丸　毎月廿八回　元山發（北久味、五里浦行又は長崎延長）

嘉島丸　十一月十三日　釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港蔚島行）

江陵丸　義陽丸　毎日　（釜山浦項）發（長生浦、方魚津寄港）

三浦丸　十一月八日　釜山發（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行）

海州丸　巨濟丸　毎　木浦發

統營丸　慶寶丸　日　釜山發（各港經由麗水行（三日目一回木浦行））

順天丸　三日目毎　木浦發（各港經由麗水行麗水より統山行に接續）

慶興丸　十一月十五日　木浦發（一、各港經由濟州島行（四廻））

公州丸　十一月十日　木浦發（一、南多島海列島行（月三回））

公州丸　十一月十日　木浦發（一、各港經由濟州島行（東廻））

宗信丸　十一月十二日　仁川發（海州經由鎭南浦行）

江原丸　十一月　日　仁川發（芝罘、大連、青島行）

龍水丸　十一月　日　仁川發

晋州丸　十一月十二日　仁川發（各港經由木浦行）

全州丸　南陽丸　毎日午前　仁川發（江華島、桐島、海州行）

尼崎汽船仁川出帆

八阪行　群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

吉丸　十一月八日後四時出帆

君が代丸　十一月十日後四時出帆

神代丸　十一月　日後四時出帆

大有丸　十一月　日後四時出帆

第二太湖丸　十一月　日後五時出帆

○群山、大阪行　土海丸　十一月　日後五時出帆

仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

京城本町　電話二〇八　振替京城二五七二　大阪屋號書店

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て聯絡切符發賣仕候

○外航所（遠洋航路を除く）聯絡船の時は五割引を以て聯絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　×漢城丸　十一月　日　溫州丸　十一月　日　汕頭丸　十一月十一日　午後五時出帆

○木浦、釜山、長崎行（▲は巌原鎭の浦に寄港）　×安東丸　十一月　日　▲天智丸　十一月十八日　午後二時出帆

○鎭南浦、大連行　×安東丸　十一月　日　天智丸　十一月十三日　午後二時出帆

○木浦神戸大阪行　薩摩丸　十一月　日　午後五時出帆

○群山、釜山、横濱行　△千珠丸　十一月廿六日　△チヨイサン丸　十一月十四日　午後四時出帆

○大連直行　△千珠丸　十一月　日　△チヨイサン丸　十一月廿日　正午出帆

○清津、浦潮行（元山出帆）（▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港）　▲城津丸　十一月　日　神宮丸　十一月十八日　地久丸　十一月　日　午後三時出帆

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　新高丸　十一月十六日　安平丸　十一月　日　午前十時出帆

御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運輸切符を發賣仕候　○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候　○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二三番　二〇番　五五〇番

京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆

共同丸　芝罘、大連行　十一月十一日後二時入港　十一月十四日前九時出帆　○外に青島行定期船に接續旅客貨物の取扱仕候と同船運賃にて通し乘船御取扱仕候

第一阪鶴丸（元山出帆）城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　十一月　日　後九時出港

第三共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　十一月　日　前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店　本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部　元山代理店（電話二四四七番）田口回漕部　京城取次店　大門通（電話二一六八、二〇一）河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　小倉丸　十一月十六日後五時出帆

○元山城津浦鹽行　小倉丸　十二月二日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行　立神丸　十一月九日後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行　立神丸　十一月十八日後十時出帆

○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　十一月十二日後九時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　十一月廿三日後六時出帆

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　每月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆

釜山本町　取扱店　大池回漕部

東京期米特電（第三版）

▲十一日後場　[illegible]

下關期米

▲十一日前場　[illegible]

仁川米豆取引所

▲十一日後場（大阪商北九十三…）[illegible]

▲保合ひ閑散　大阪の變動なき入電にて九圓四十二錢と舉げ四十錢と押し[illegible]

▲十日の産米調　に基き九日の現在高を取調べたるに玄米中白米にて合計二萬一二千俵[illegible]　檢米規定（道岡に撰すとの事地協議所某者の分は未だ一口も提供せず）

▲精選米の氣配　[illegible]

後場　寄付　高値　安値　止メ　[illegible]